

新庄酒田道路(戸沢～立川)

計画段階評価

第1回 説明資料

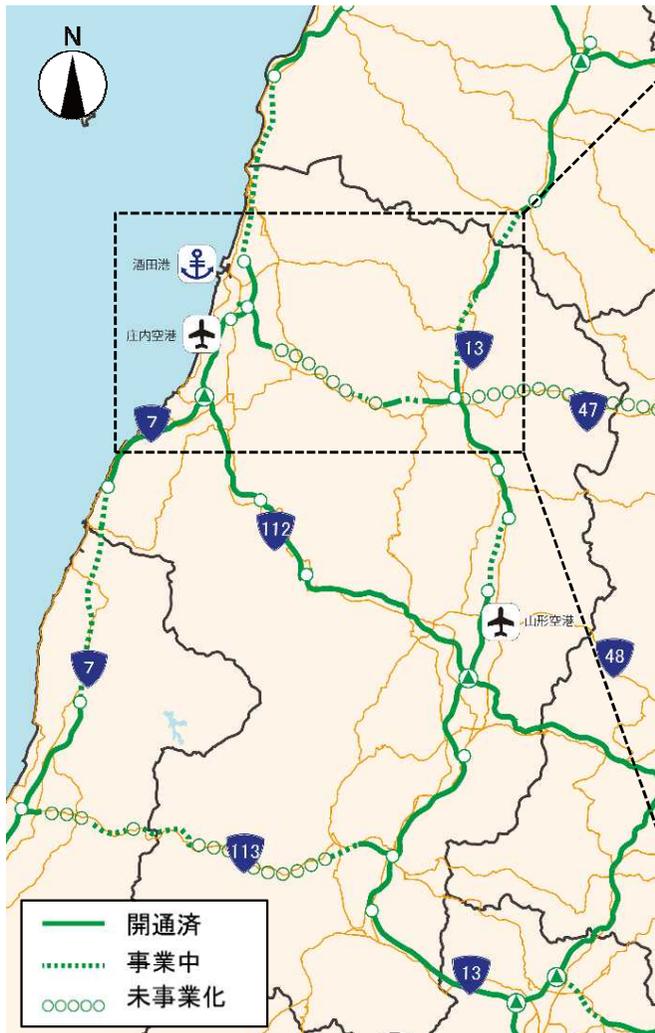
1. 新庄酒田道路の概要
2. 地域の概要
3. 道路交通・地域の状況と課題
4. 地域に配慮すべき事項
5. 政策目標の素案
6. 地域の将来像との整合
7. 政策目標の設定
8. 地域からの意見聴取方法
9. 計画段階評価検討の流れ

令和元年9月30日
国土交通省 東北地方整備局

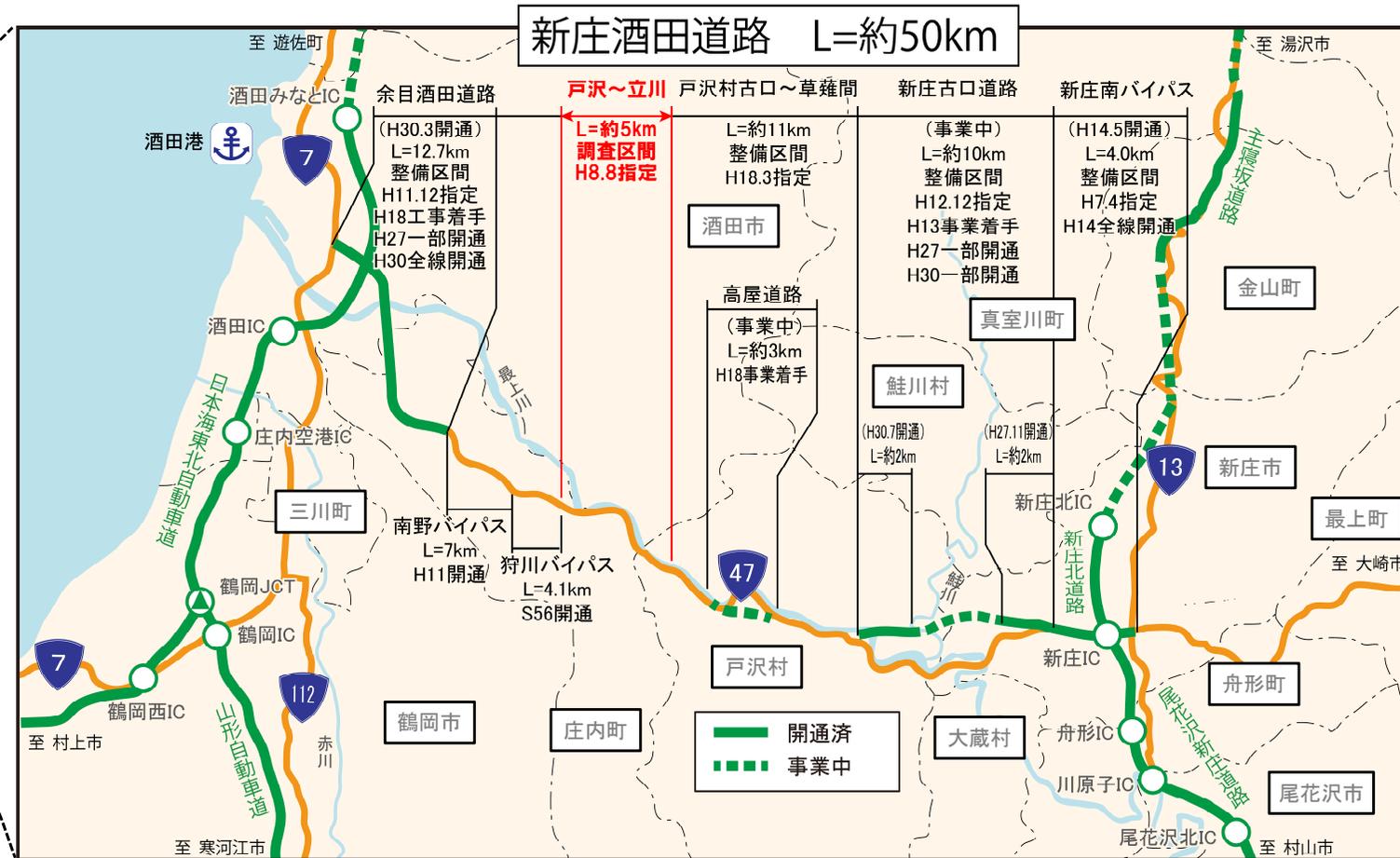
1. 新庄酒田道路の概要

- ◆ 新庄酒田道路は、計画延長約50kmの地域高規格道路であり、新庄南バイパス、余目酒田道路が完成しており、新庄古口道路の一部が開通済み。現在、新庄古口道路、高屋道路が事業中。
- ◆ 今回の対象区間は、整備区間指定されている戸沢村古口～草薙間に隣接し、戸沢村と庄内町を結ぶ「戸沢～立川」。

【図1】広域図



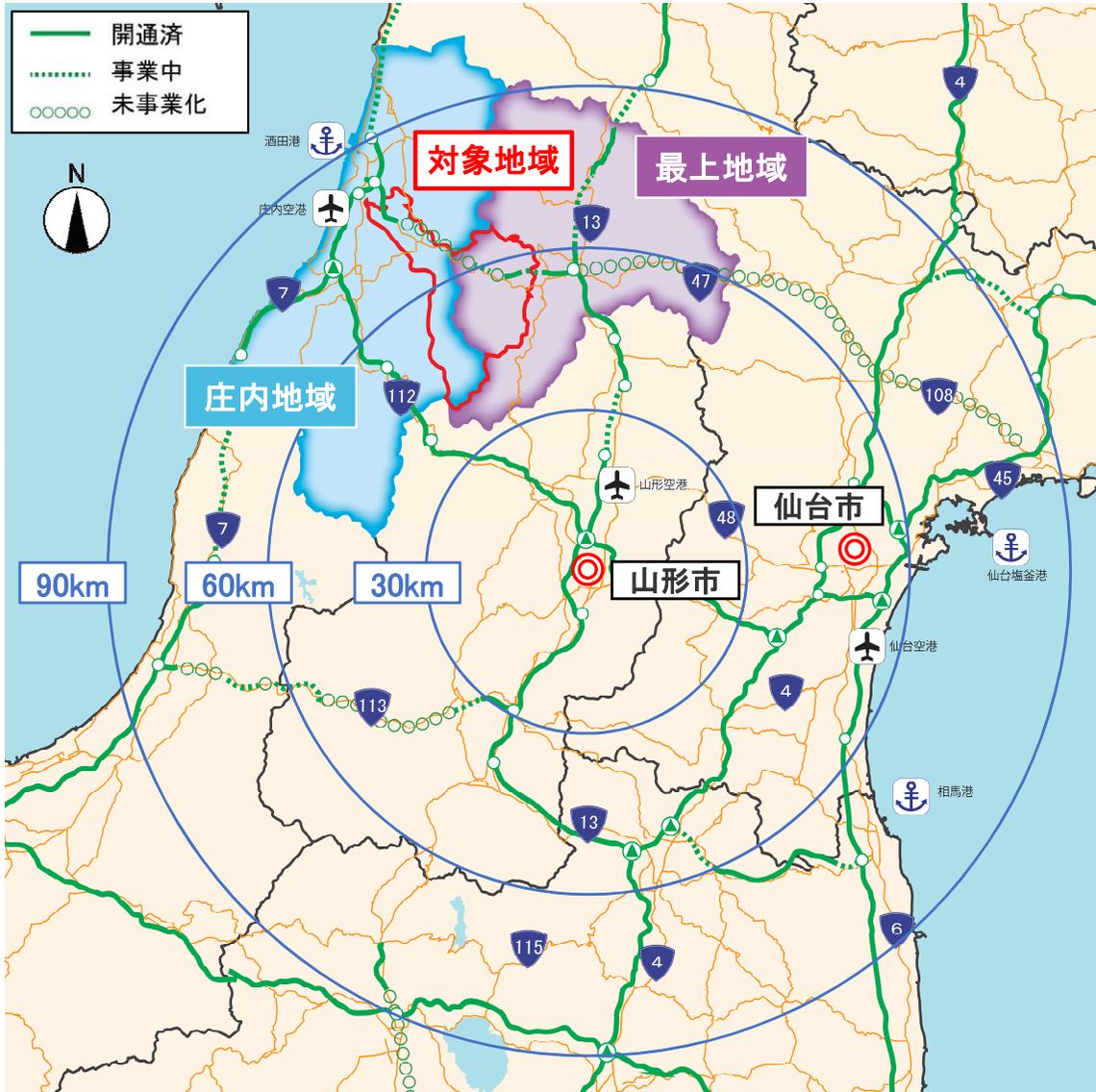
【図2】詳細図



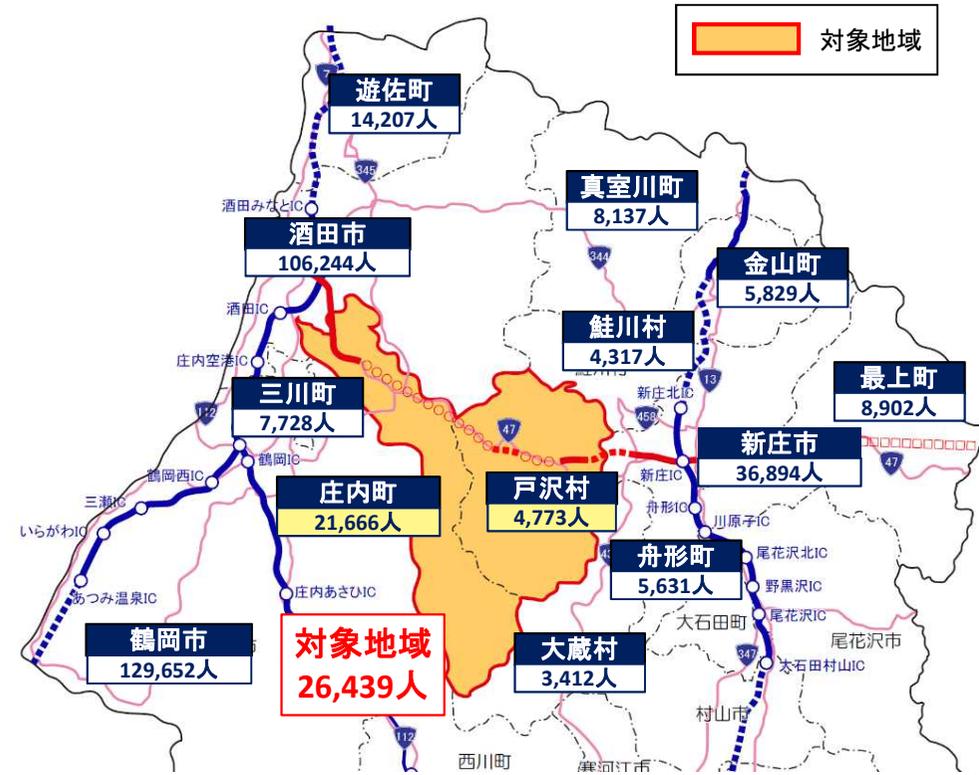
2. 地域の概要(位置)

- ◆ 対象区間が通過する戸沢村と庄内町は、山形市から約60km離れた最上地域と庄内地域の境界部に位置。
- ◆ 対象地域の人口は、約26,000人。

【図1】位置



【図2】対象地域の人口

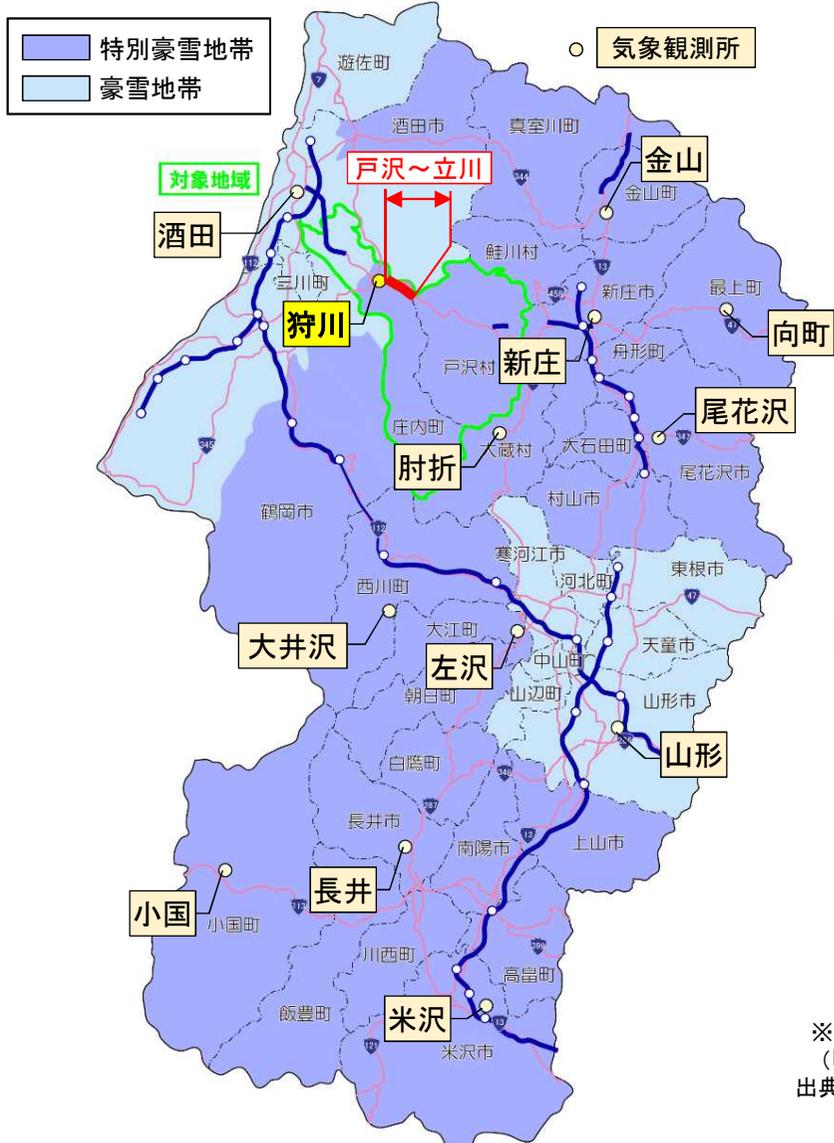


| 市町村 | 人口 | 世帯数 | 面積(km ²) |
|-----|--------|-------|----------------------|
| 戸沢村 | 4,773 | 1,390 | 261.31 |
| 庄内町 | 21,666 | 6,637 | 249.17 |
| 計 | 26,439 | 8,027 | 510.48 |

2. 地域の概要(気象条件)

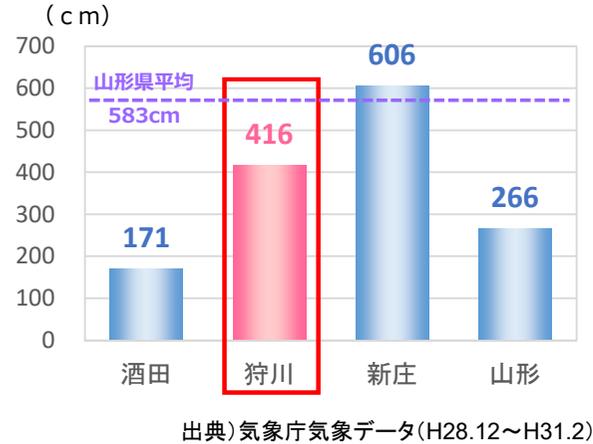
- ◆ 対象区間は、降雪が多く特別豪雪地帯に指定。
- ◆ 山形県内の特別豪雪地帯の中で、冬期の平均風速が最も大きく、地吹雪による視程障害が多発。

【図1】豪雪地帯の指定状況

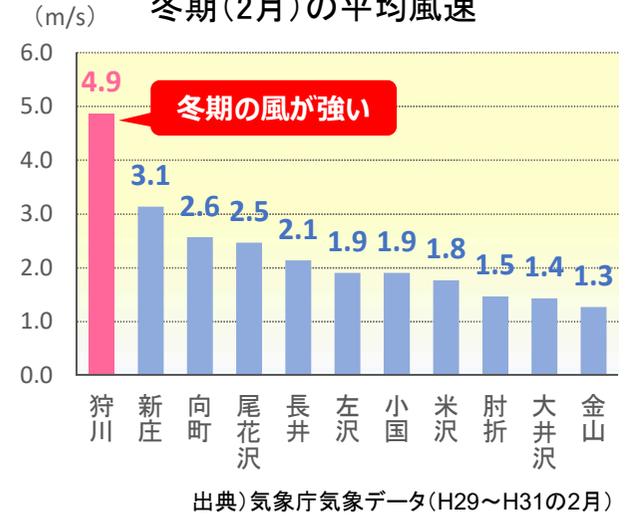


出典) 全国積雪寒冷地帯振興協議会HPより作成

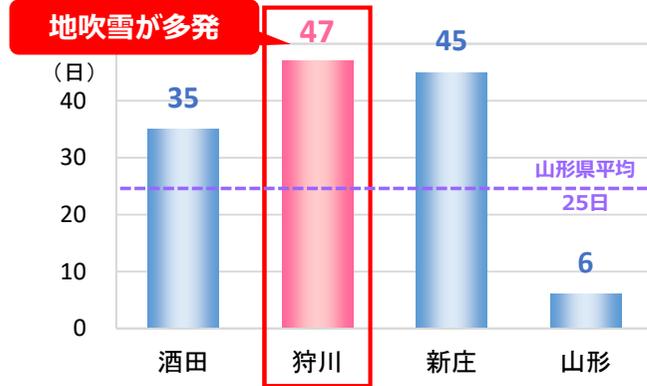
【図2】年平均降雪量



【図3】県内特別豪雪地帯における冬期(2月)の平均風速



【図4】年平均地吹雪発生日数



※吹雪の発生条件となる日数を抽出 (「雪水調査法」北海道大学刊行会)
 出典) 気象庁データ(H25.12~H31.2)

| 気温 | 降雪有り | 降雪無し |
|--------|--------|---------|
| 0~-5°C | 6m/s以上 | 11m/s以上 |
| -5°C以下 | 5m/s以上 | 10m/s以上 |

○地吹雪発生日の抽出条件

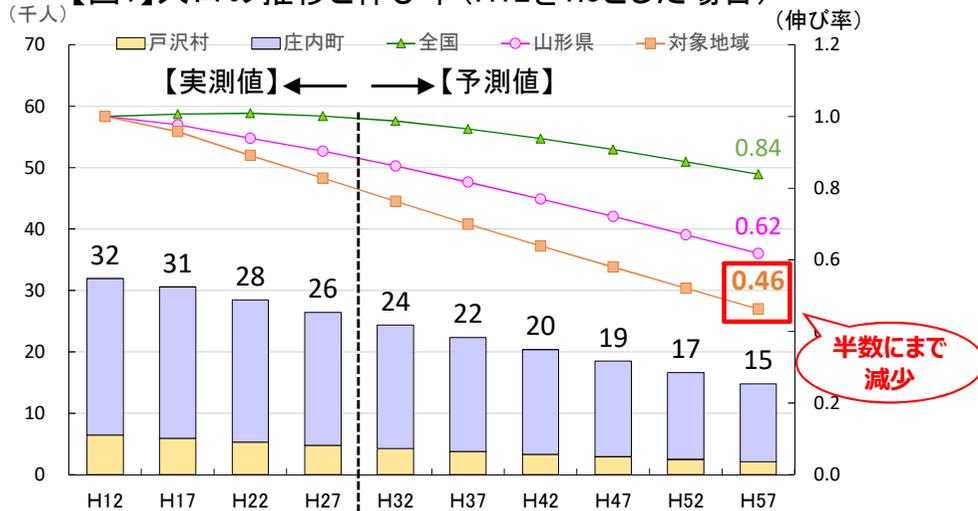
【写真1】対象区間の地吹雪による視程障害状況



2. 地域の概要(人口)

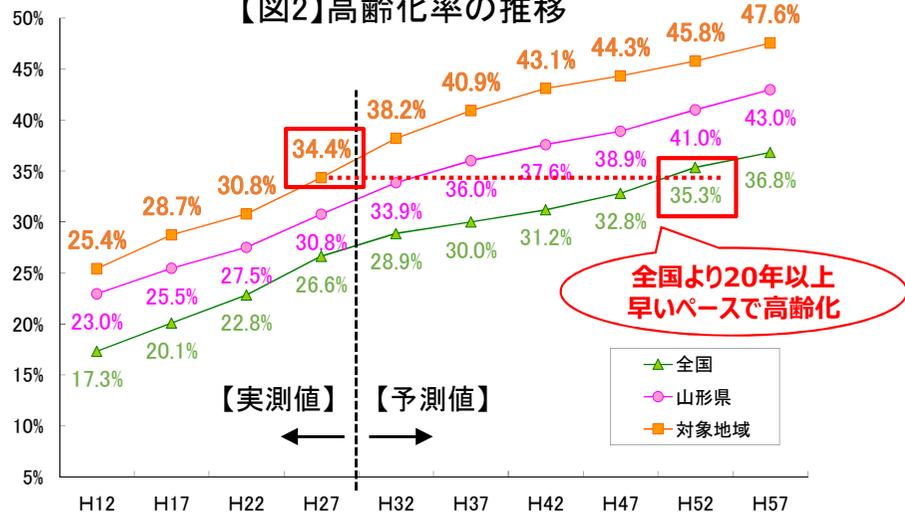
- ◆ 対象地域の人口は、全国及び山形県を上回るペースで減少。
- ◆ 高齢化率も全国や山形県を上回っており、全国より20年以上早いペースで高齢化が進行。
- ◆ 生産年齢人口も全国や山形県と比べ、低い状況。

【図1】人口の推移と伸び率(H12を1.0とした場合)



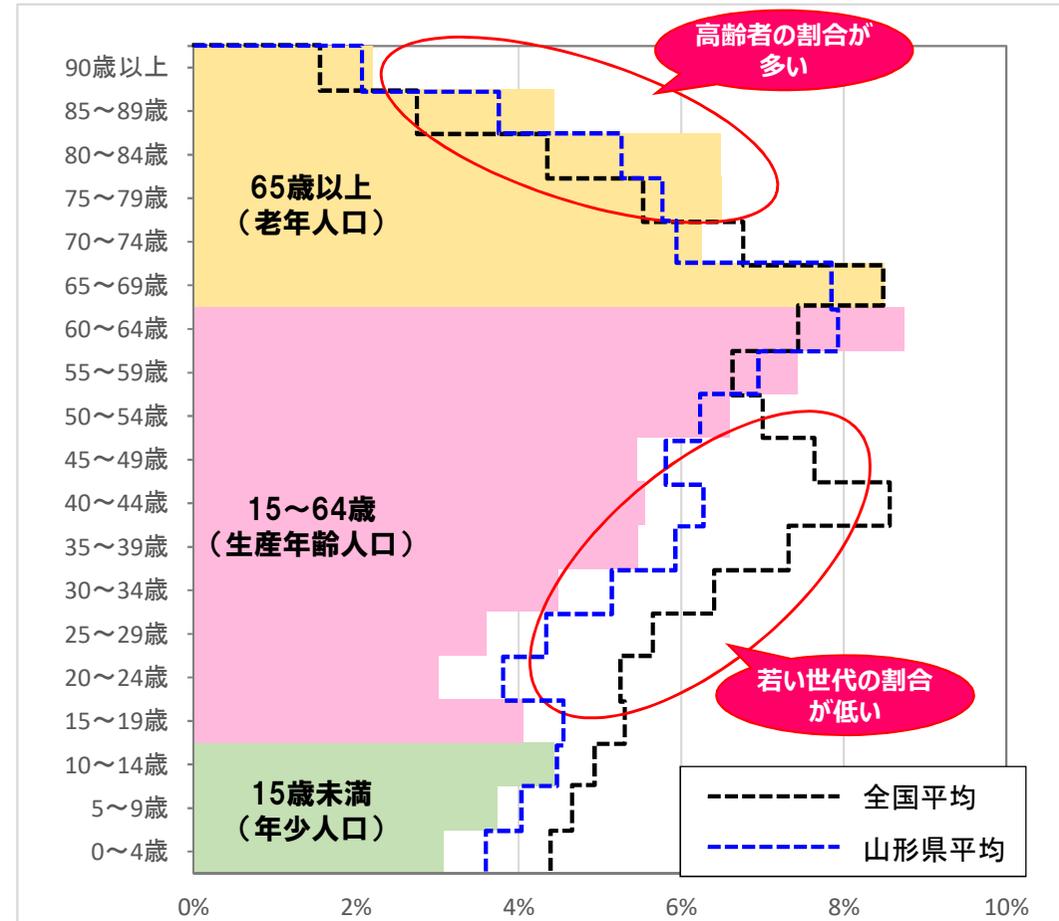
※対象地域: 庄内町、戸沢村 出典)H27国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所

【図2】高齢化率の推移



※対象地域: 庄内町、戸沢村 出典)H27国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所

【図3】対象地域の年齢別人口推移



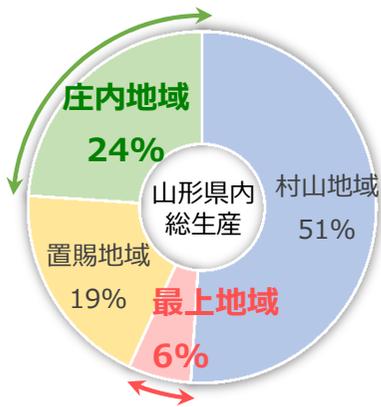
※対象地域: 庄内町、戸沢村

出典)H27国勢調査

2. 地域の概況(産業)

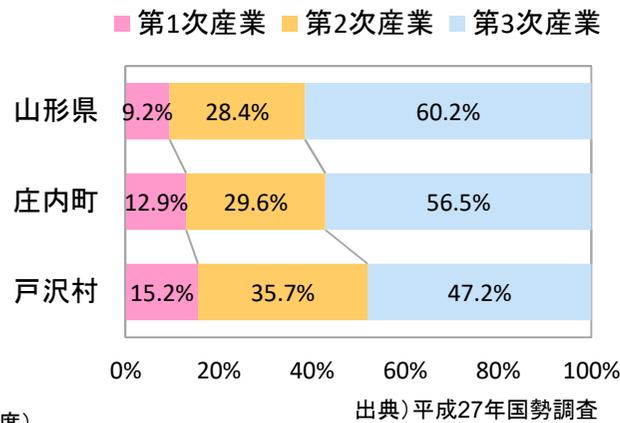
- ◆ 対象地域は山形県全体と比べ、第1次産業・第2次産業の比率が高い。
- ◆ 農業産出額は、庄内町では米、豚、戸沢村では米、野菜の順で多く、工業従業者数は、庄内町では食品製造業、戸沢村では繊維工業が多い。
- ◆ 戸沢村の舟下りは水上観光船で全国1位に輝くなど、山形県を代表する観光資源のひとつ。

【図1】山形県内総生産地域別シェア



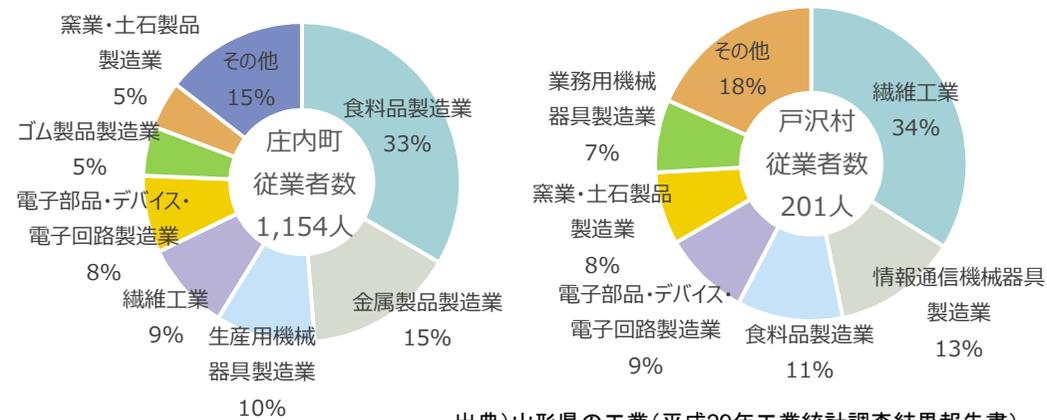
出典) 山形県市町村経済計算(平成27年度)
H30.11.13公表値より

【図2】対象地域の産業別構成比



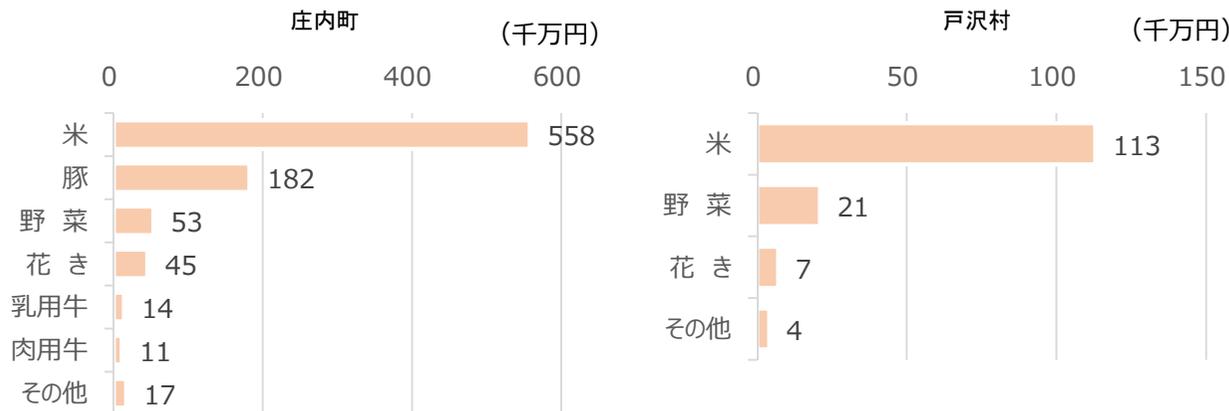
出典) 平成27年国勢調査

【図4】対象地域の工業に関わる従業者数(第2次産業)



出典) 山形県の工業(平成29年工業統計調査結果報告書)

【図3】対象地域の農業産出額(第1次産業)



出典) 平成29年市町村別農業産出額

【表1】第2回プロが選ぶ水上観光船30選

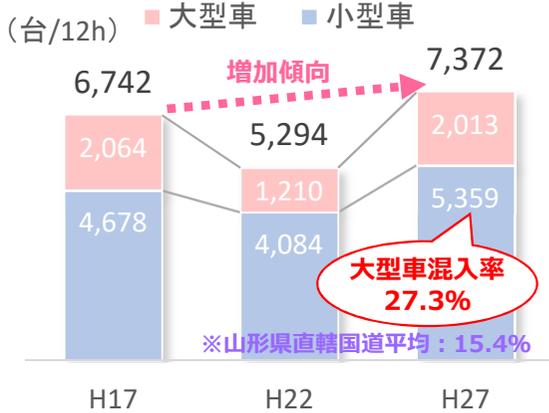
- 1位 **最上峡芭蕉ライン観光** (山形県 最上川芭蕉ライン舟下り)
- 2位 **シーライン東京** (東京都 東京ベイ・クルージングレストラン)
- 3位 **東京ヴァンテアクルーズ** (東京都 東京湾クルーズ)
- 4位 **狛鼻溪舟下り** (岩手県 狛鼻溪舟下り)
- 5位 **保津川遊船企業組合** (京都府 保津川下り)
- 6位 **晴海屋** (東京都 東京湾屋形船)
- 7位 **十和田観光電鉄** (青森県 十和田湖遊覧船)
- 8位 **丸文松島汽船** (宮城県 松島湾遊覧)
- 9位 **道東観光開発** (北海道 知床観光船おーろら)
- 10位 **松江市観光振興公社** (島根県 堀川遊覧船)

※2018年12月発表
主催: 旅行新聞新社

2. 地域の概要(交通流動・特性)

- ◆ 対象区間を利用する交通量は増加傾向で、平成27年には約74百台/12h。大型車混入率が高く、平均トリップ長が100kmを超える通過交通が多い。
- ◆ 庄内地域～最上地域、庄内地域～宮城・福島・関東の利用など、広域的な幹線道路として機能。
- ◆ 戸沢村↔庄内町間には路線バスが運行しておらず、鉄道も1時間に1本以下の運行で、自動車への依存度が高い。

【図1】戸沢～立川の交通量の推移



※H22は高速道路無料化社会実験中

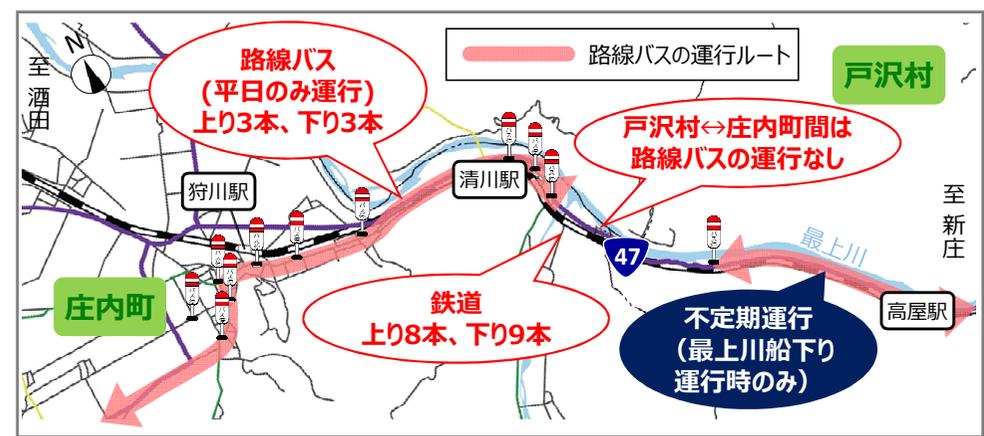
出典)平成17・22年度道路交通センサス、平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査

【図2】現道利用車両のトリップ長分布



出典)平成22年度道路交通センサスに基づく交通量推計による

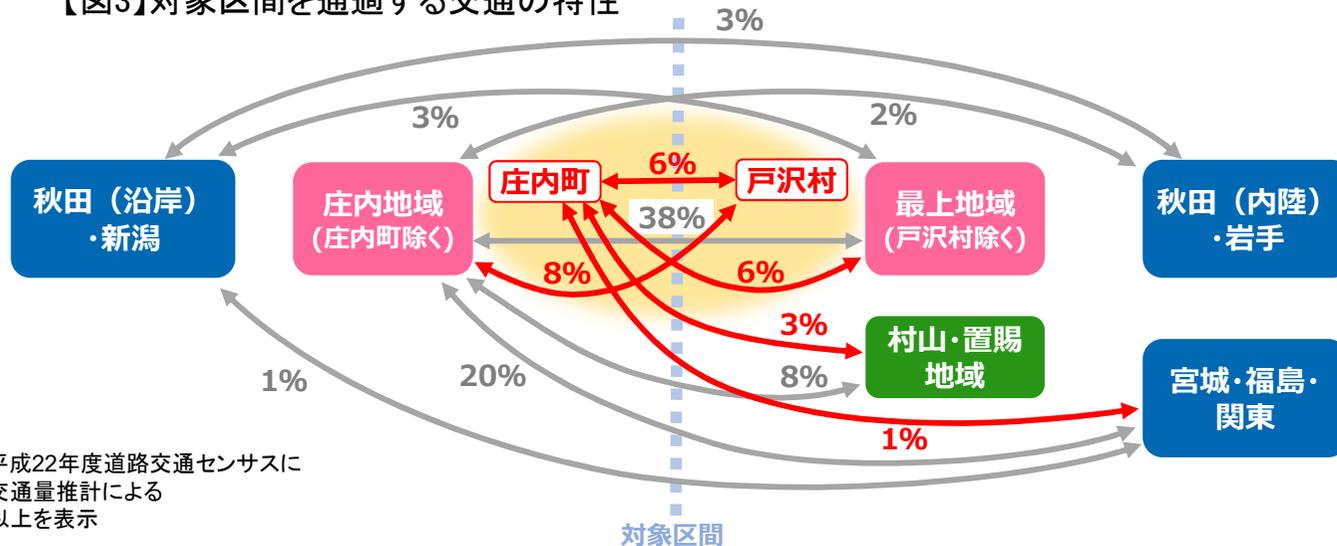
【図4】公共交通の状況



出典)庄内交通株式会社HP、最上川交通株式会社HP

※鉄道は平日ダイヤ

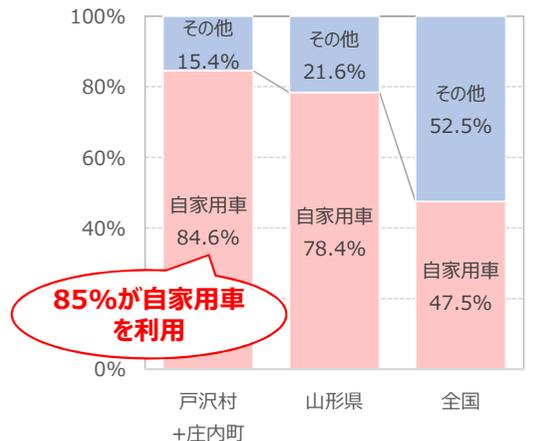
【図3】対象区間を通過する交通の特性



出典)平成22年度道路交通センサスに基づく交通量推計による

※1%以上を表示

【図5】通勤・通学時の利用交通手段

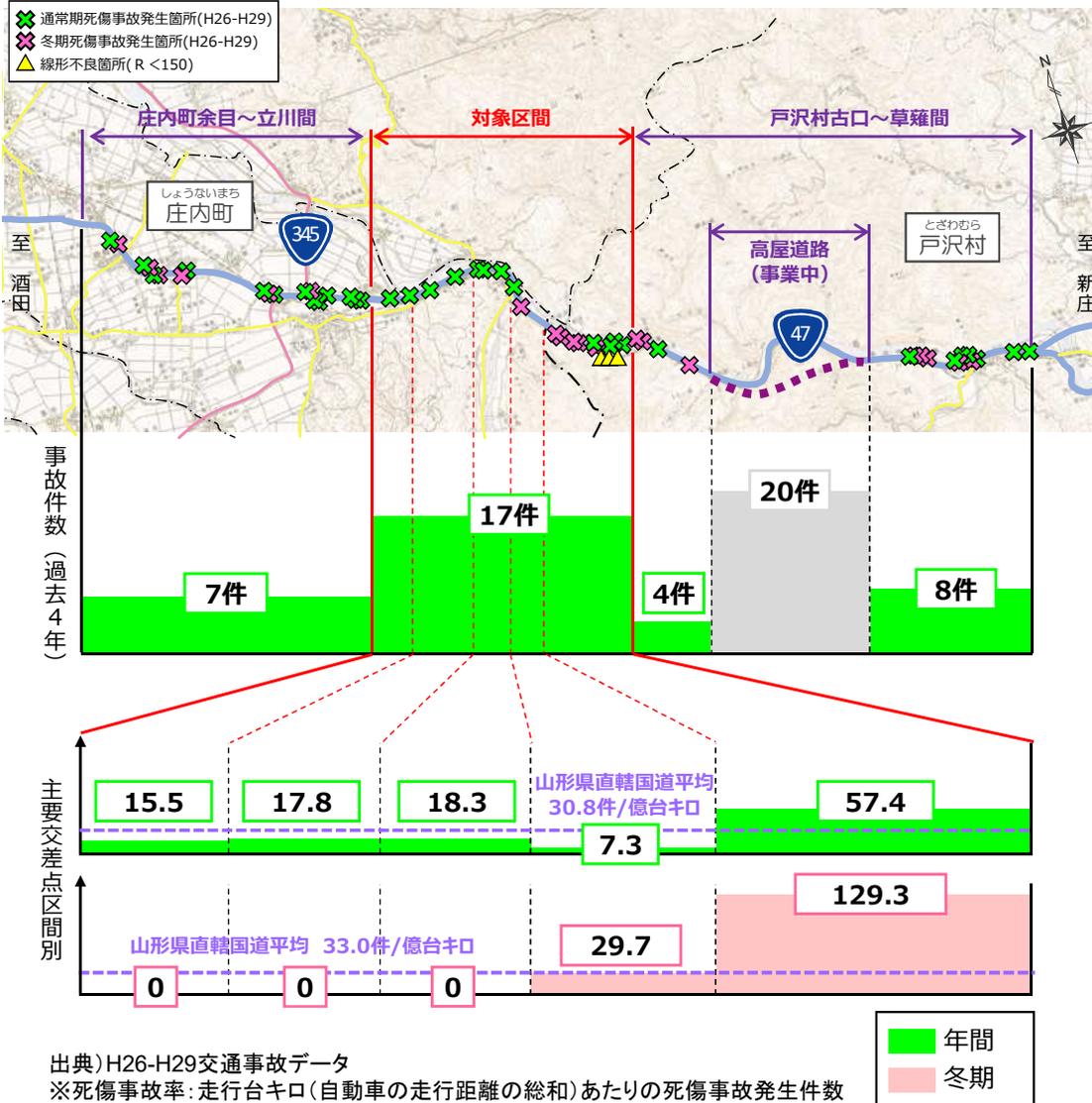


出典)H22国勢調査(常住地による利用交通手段)

3. 道路交通・地域の状況と課題(事故)

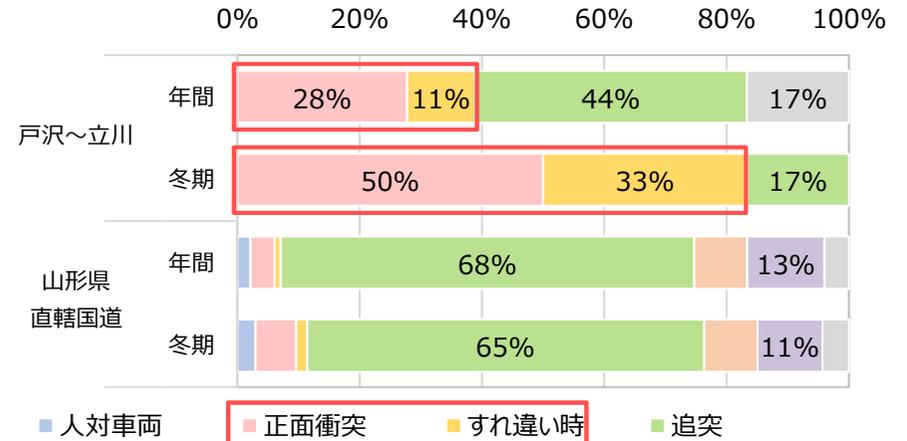
◆ 対象区間は、新庄～酒田間の未着手区間の中で交通事故が多く、特に走行環境が低下する冬期において重大事故が多発。

【図1】未着手区間の事故件数と対象区間の事故率(単路部)



出典)H26-H29交通事故データ
※死傷事故率:走行台キロ(自動車の走行距離の総和)あたりの死傷事故発生件数
※冬期:12~2月、事業中区間の並行現道は除いて整理

【図2】死傷事故類型



出典)H26-H29交通事故データ
※冬期:12~2月、通常期:3~11月

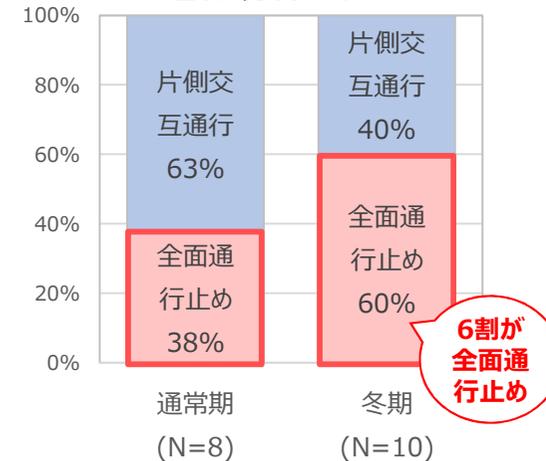
【写真1】冬期事故発生状況



【写真2】急カーブ箇所の路面凍結状況



【図3】戸沢～立川の事故による通行規制の状況

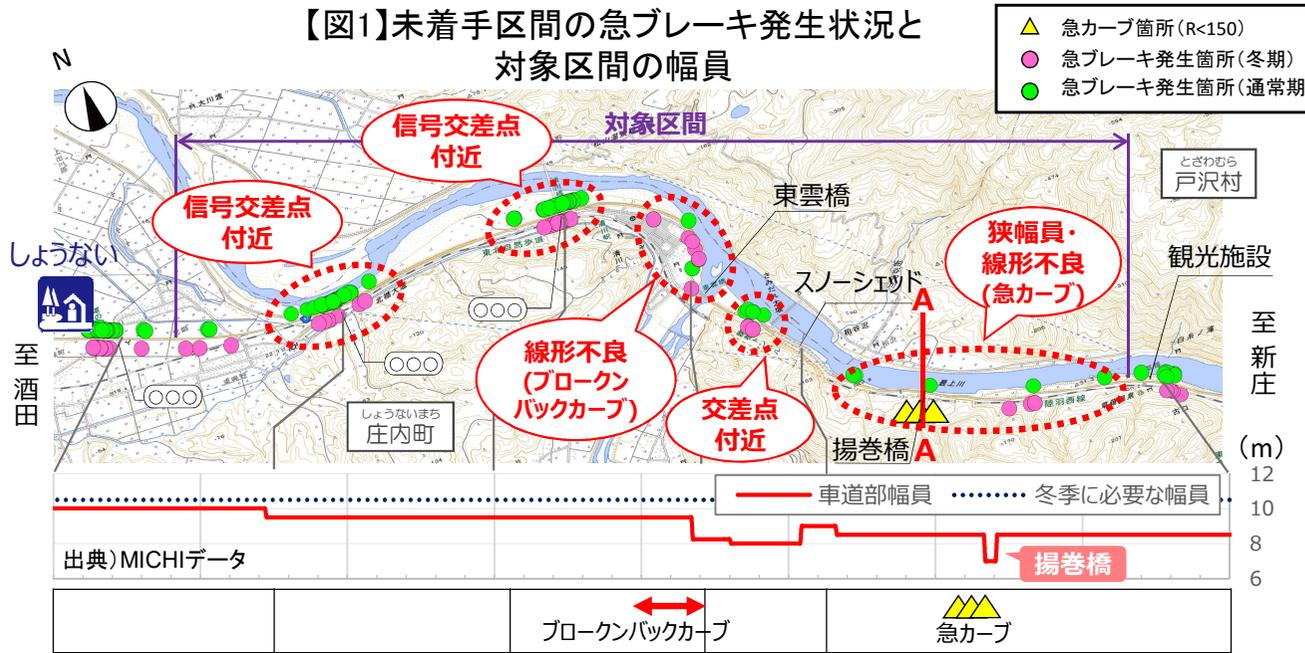


出典) 酒田・山形河川国道事務所資料(H20~H30年度)
※冬期:12~2月、通常期:3~11月

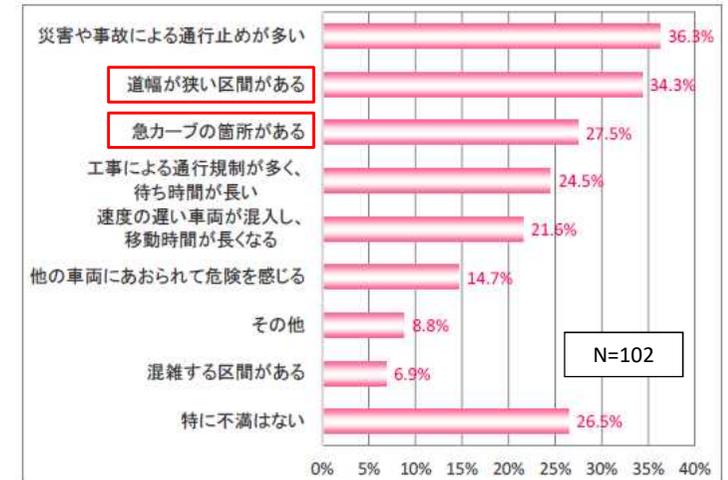
3. 道路交通・地域の状況と課題(幾何構造)

- ◆ 対象区間は狭幅員、急カーブが連続しており、信号交差点以外の区間でも、急ブレーキ挙動が確認されており、道路利用者からは、走行性や安全性の低下を指摘されている。
- ◆ 冬期は地吹雪や路面凍結、堆雪により、更に走行環境が悪化するため、走行安全性の向上が課題。

【図1】未着手区間の急ブレーキ発生状況と対象区間の幅員



【図3】国道47号(新庄～酒田間)を利用した輸送において、不満に感じること



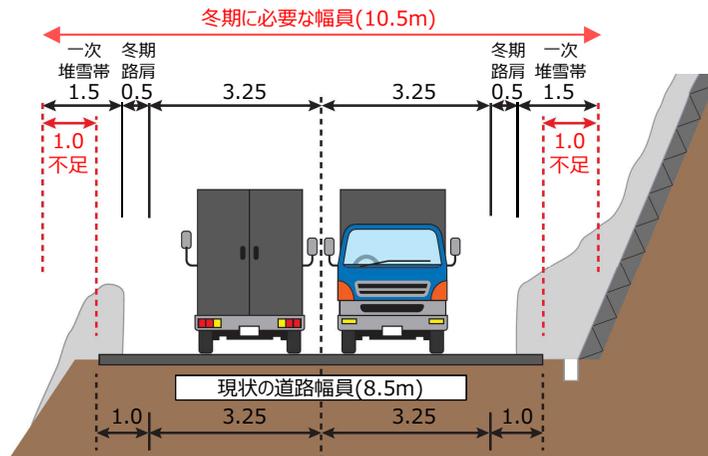
出典)H27.1国道47号の物流実態アンケート調査

【写真1】線形不良区間の冬期走行状況



出典)ETC2.0データ(通常期:H29.10、冬期:H30.2)
※急ブレーキ:前後加速度 $\leq -0.4G$ の挙動

【図2】当該区間の道路断面イメージ(A-A)



(第3種第2級60km/h幾何構造基準)

※道路構造令上必要な幅員:冬期路肩、一次堆雪帯を考慮
 $W=10.5m(1.5-0.5-3.25-3.25-0.5-1.5)$
(「道路構造令の解説と運用(H27.8)」より)

※ブロークバックカーブ:同方向に屈曲する曲線の間に短い直線が存在するカーブ。視覚的な錯覚を与えるため避けることが望ましい組合せ。

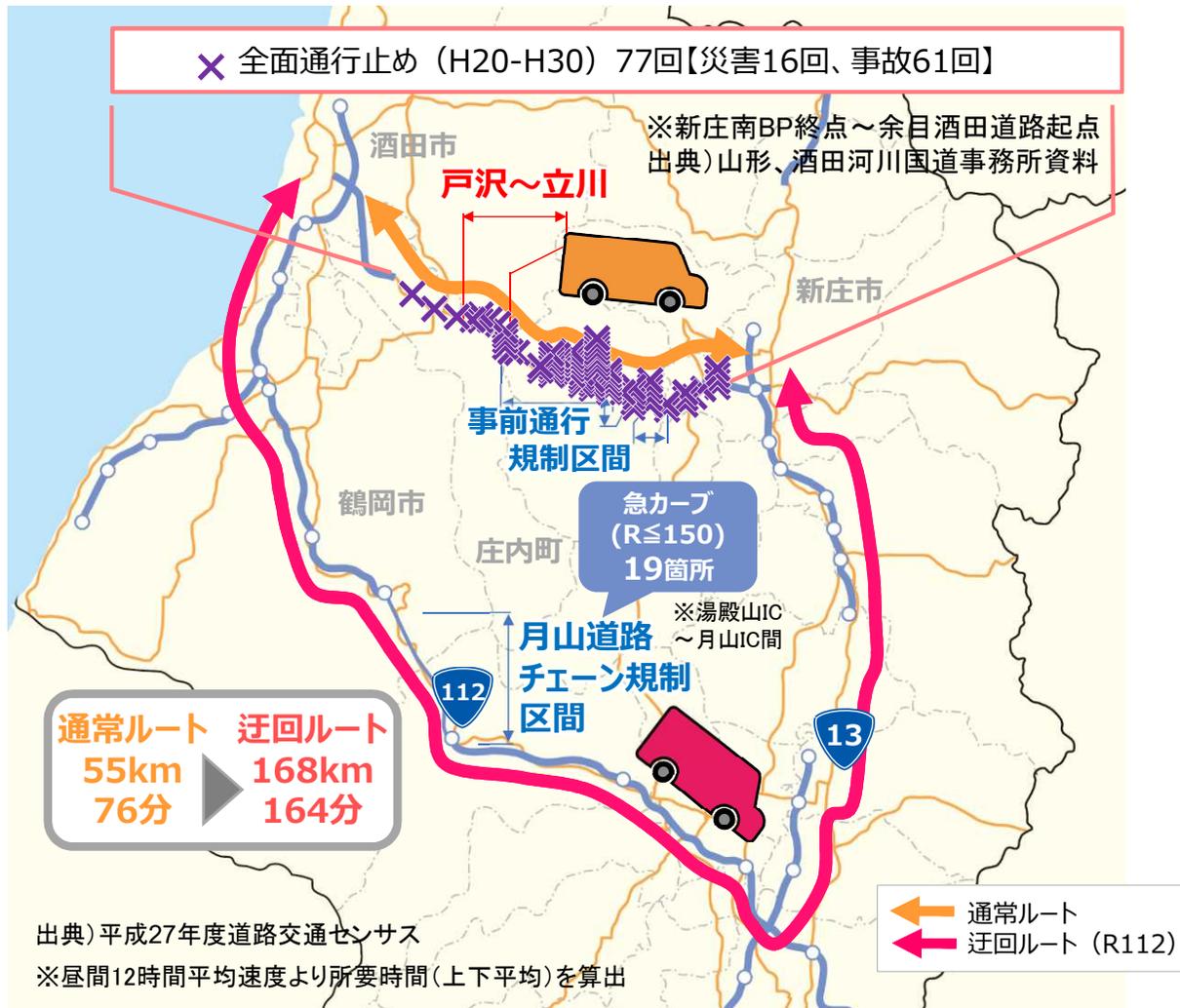
《通勤利用者の声》 H31通勤利用者へのアンケート調査結果より

- 国道47号は**道幅が狭く、カーブが多い**ため、**通勤に疲れてしまう。**
- **大型車**とのすれ違いも多く、常に**危険**を感じている。

3. 道路交通・地域の状況と課題(災害)

- ◆ 国道47号では過去11年(H20~H30)で77回(うち当該区間では10回)の全面通行止めが発生。
- ◆ 全面通行止め時には距離にして約3倍、時間にして約2倍もの迂回が必要。迂回ルートとなる月山道路は、標高差が大きく、急勾配や急カーブ箇所が多い。さらに冬期はサービス水準が低下。
- ◆ 対象区間では、平成20年8月の大雨時には、土砂崩落・落石により、12日間の長期間に渡る交通規制が発生。
- ◆ 交通事故でも、処理のため長時間の通行止めが発生。

【図1】国道47号通行止時の迂回ルート



【写真1】大雨による崩壊斜面(H20.8.15)



《道路利用者の声》

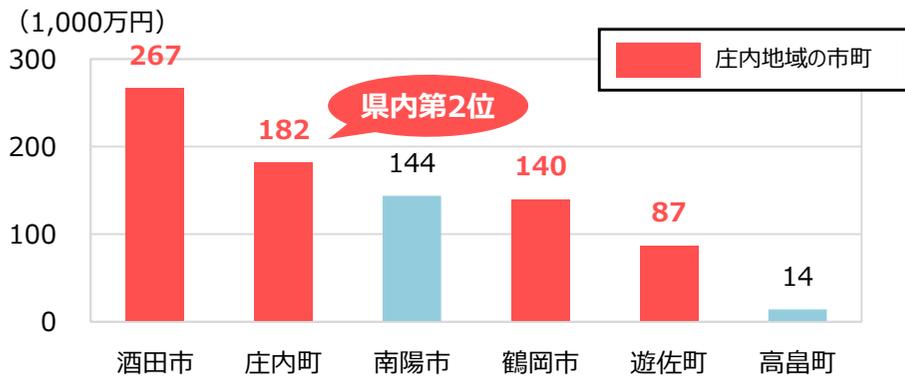
H31通勤利用者へのアンケート調査結果より

- ・ 通行止めによって**3時間以上の運転**となり、**業務に支障をきたすほどの疲労**だった。

3. 道路交通・地域の状況と課題(物流・産業)

- ◆ 庄内町の豚の産出額は県内第2位、庄内町に立地すると畜場では、県内の豚の約7割がと畜され、山形県の養豚業を支える。
- ◆ 庄内町の食肉業者は、豚の生体輸送、加工肉の輸送等に国道47号を毎日利用。
- ◆ 線形不良箇所の走行による加工肉の品質低下や、通行止めによる商品の製造・供給への影響が大きく、輸送上のリスクを低減することが課題。

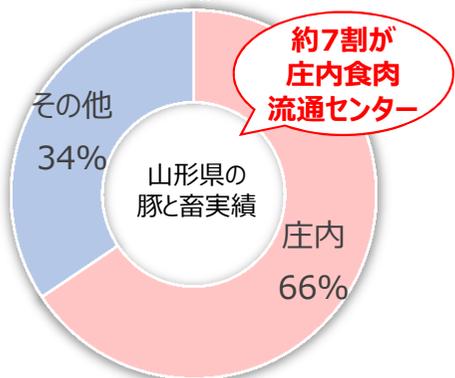
【図1】山形県における市町村別農業産出額(豚)



出典) 平成29年市町村別農業産出額(推計)

※農業産出額(畜産物): 最終生産物(と畜後)及び成長過程の流通段階ごとの育成差益を計上、市町村別は飼養頭数を用いて按分(生産農業所得統計(農林水産省)による)

【図2】山形県における豚と畜実績(H29)



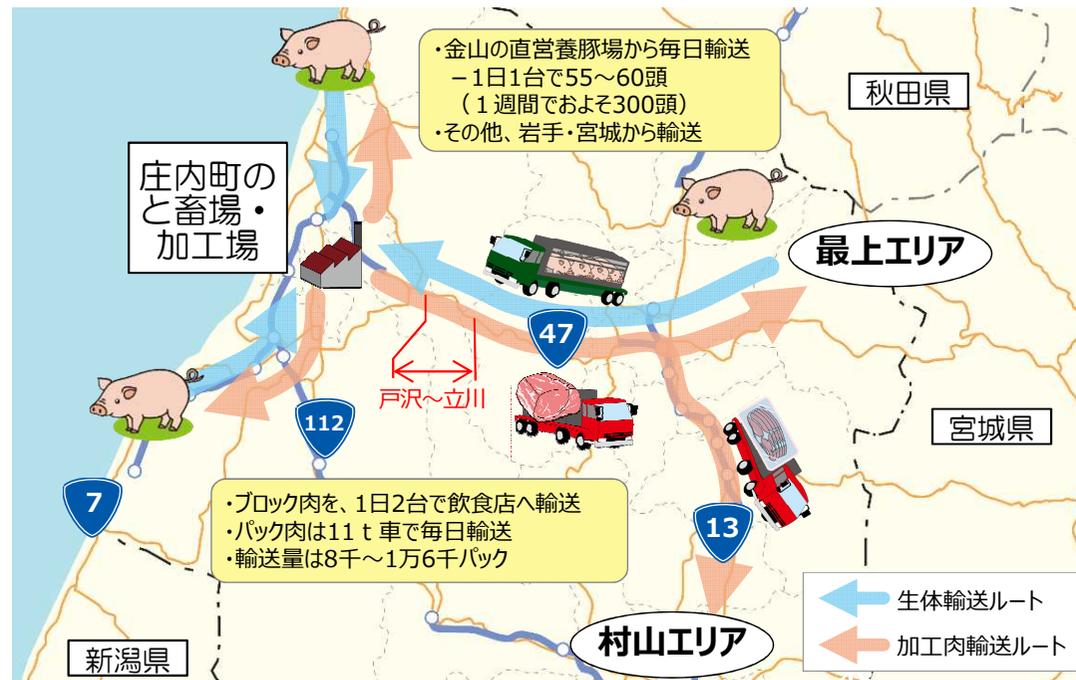
【写真1】と畜場



出典) 企業HPより

※県内のと畜場は、山形市、米沢市、庄内町の3箇所のみ
出典) 庄内の実績: 庄内食肉流通センターHP、
山形県全体の実績: 畜産物流通統計(H29、H30)より

【図3】国道47号を利用する豚の生体輸送・加工肉の輸送ルートの例



出典) 企業ヒアリング調査結果より(H28.9)

《事業者の声》 H28.9ヒアリング調査結果より

- ・急カーブ等でパック肉が偏ると、店頭に出せず**返品**になることもある
- ・通行止めにより豚の生体輸送が止まると、**商品の製造・供給に影響**が発生し、豚肉の配送が飲食店等の仕込み時間に遅れると、催促・苦情、**注文のキャンセル**が発生する
- ・納入期限(時間)に追われているため、パッケージ作業の時間がもっと欲しい
(輸送時間の短縮を望む)

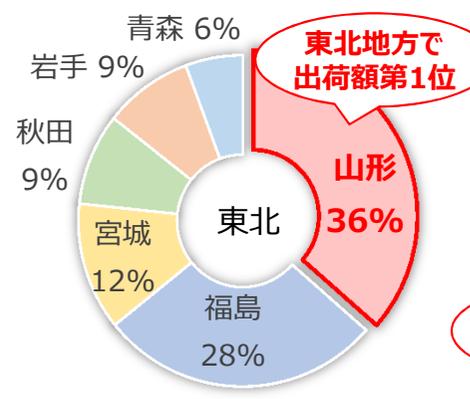
3. 道路交通・地域の状況と課題(物流・産業)

- ◆ 庄内町の漬物は全国で高い評価を受けており、東北地方では山形県、県内では庄内地域がシェア第一位。
- ◆ 原材料となる野菜や庄内町で生産される製品は、国道47号を利用して毎日輸送。
- ◆ 通行止め時には、原材料の確保ができなくなる、日持ちしない製品の鮮度が保てず廃棄処分となるなど、製造・供給への影響が大きいことが課題。

【写真1】全国で高い評価を受けている庄内町の漬物

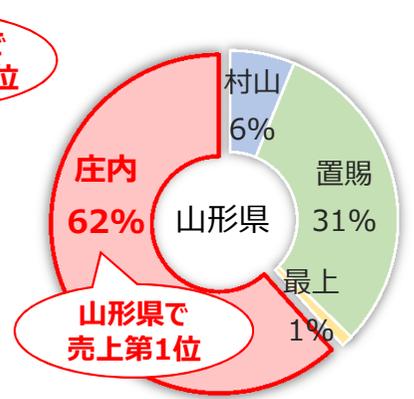


【図1】東北地方の野菜漬物出荷金額シェア



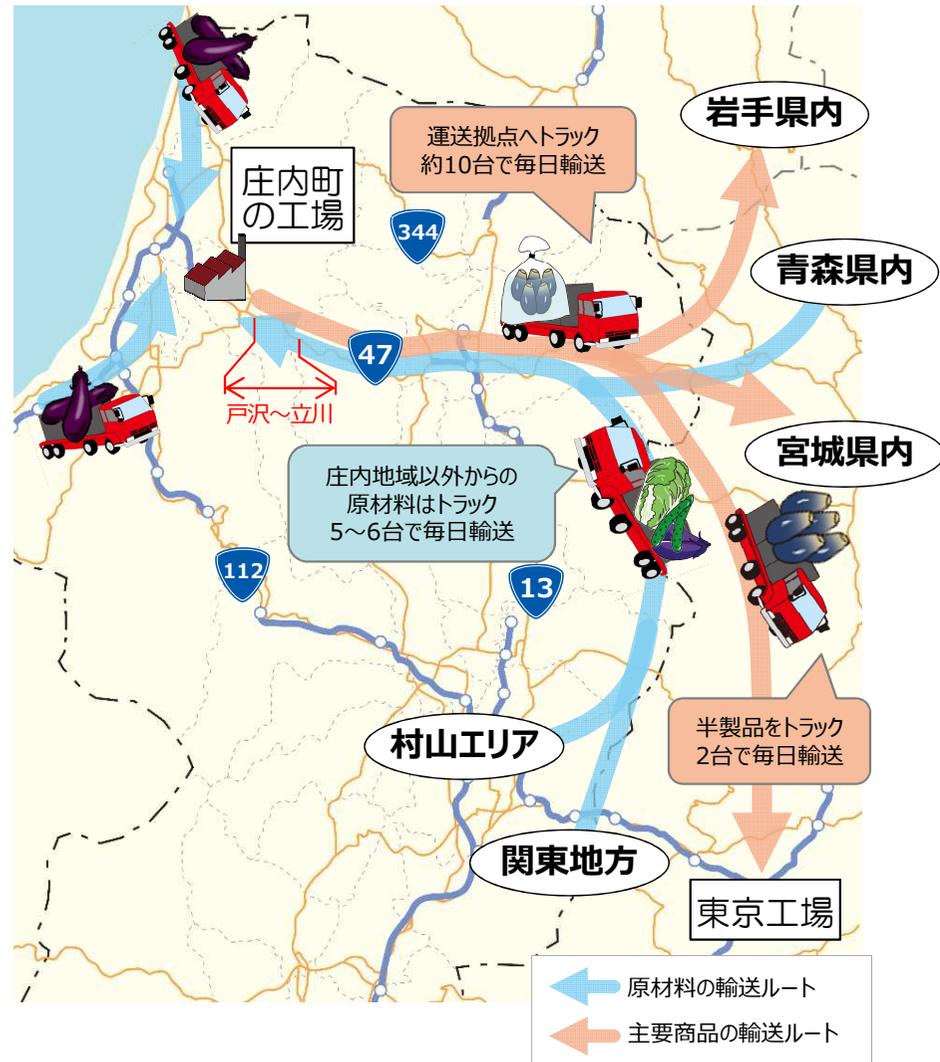
出典) 平成29年工業統計品目別統計表 ※野菜漬物(果実漬物を含む)

【図2】山形県における漬物売上金額のシェア



出典) 山形県漬物協同組合(組合員18社) ※平成29年の売上

【図3】原材料と主要商品の輸送ルート



《事業者の声》 H28.9ヒアリング調査結果より

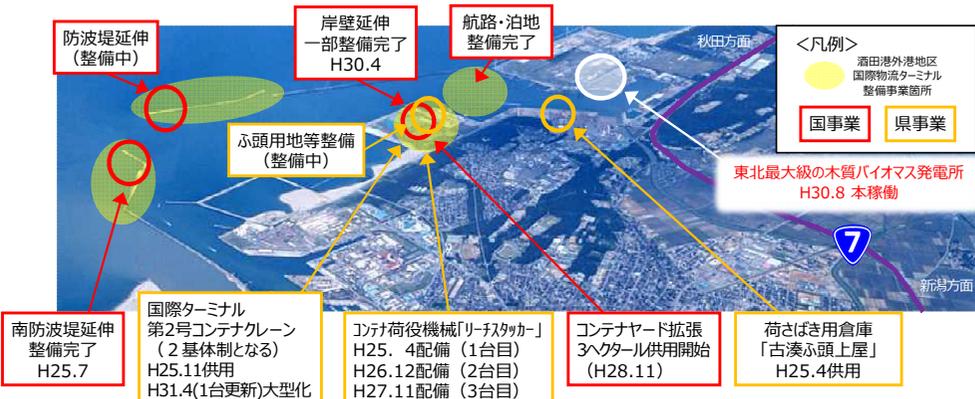
- 通年を通し、**通行止めが企業活動にとって大きな痛手**となっている
- 通行止めによって原料の輸送が止まってしまった場合、**注文数を生産できなかったり、工場を稼働できなかったり**する可能性もある
- また通行止めで製品の到着時間が遅れると、当日配送ができなくなるため、製品は**全て廃棄処分となる**

※企業ヒアリング調査結果(H28.9)より

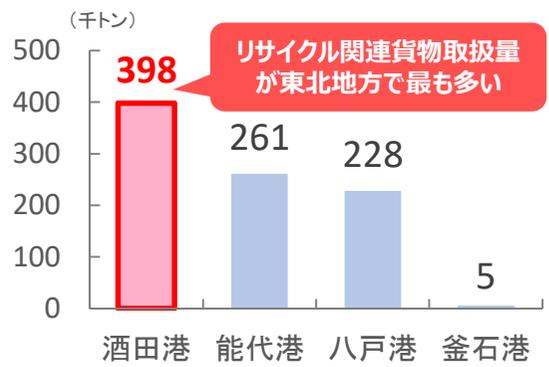
3. 道路交通・地域の状況と課題(物流・産業)

- ◆ 酒田港は、平成23年にリサイクル貨物に係る日本海側拠点港に指定されて以降、機能強化が進み、リサイクル関連貨物の取扱量は東北第一位。リサイクル貨物の多くが国道47号を利用して輸送。
- ◆ 平成30年には東日本最大級のバイオマス発電所が商業運転を開始。燃料となる木材チップは国道47号を利用して毎日輸送。
- ◆ 物流事業者からは、冬期の走行性低下や通行止めの発生リスクを指摘されている。

【図1】機能強化が進む酒田港

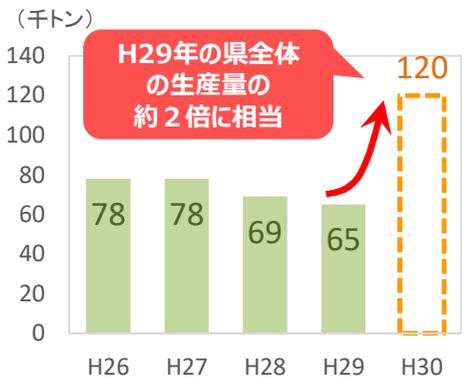


【図2】東北地方のリサイクルポートにおけるリサイクル関連貨物取扱量



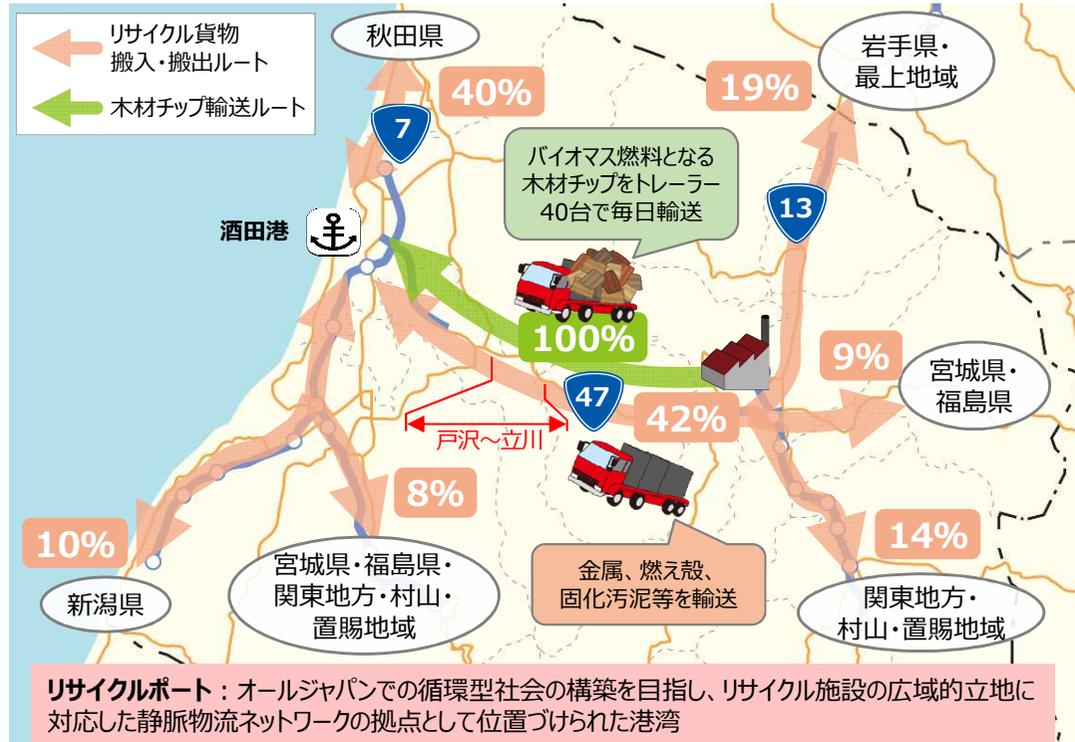
出典)平成29年酒田港湾統計年報、平成29年岩手県港湾統計年報、平成29年港湾統計年報(秋田県)、平成29年八戸港統計年報
 ※リサイクル関連貨物: 窯業品、金属くず、再利用資材、廃棄物、廃土砂として移入出量、輸入出量を合計

【図3】山形県の木材チップ生産量



出典)H30:チップ製造工場の生産見込み(H30.7ヒアリング調査より作成)
 H26~H29:木材需給報告書

【図4】リサイクル貨物及び木材チップの搬入・搬出ルートの例



出典)H25リサイクル関連企業アンケート調査結果のうち、回答のあった企業(9社)より(年間輸送量計42千トン)H30.7ヒアリング調査より作成

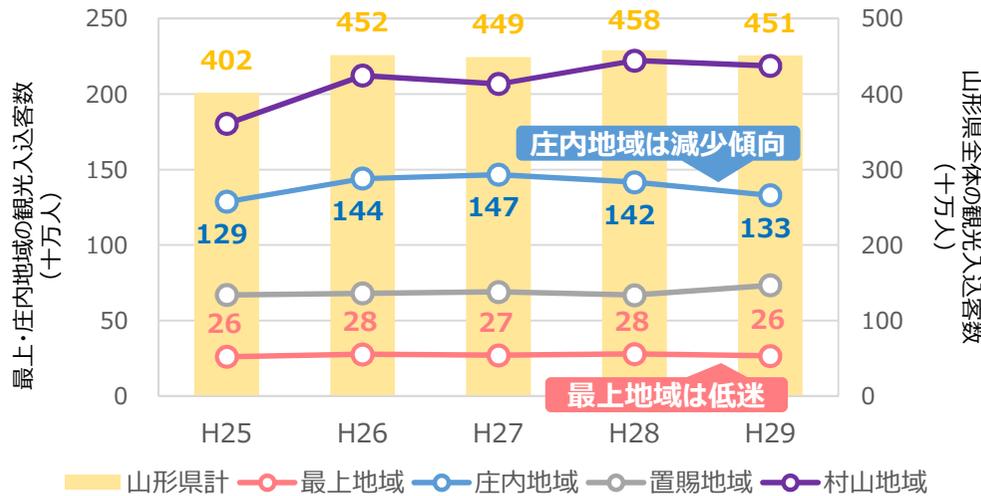
《事業者の声》

- H25リサイクル関連企業アンケート調査、H29.9バイオマス発電事業者ヒアリング調査結果より
- 降雪時期の国道47号は**最上川沿いで急カーブが連続し冬期の難所**である
 - **路面凍結や積雪**による影響で**速度を下げなくてはならず**、納品時間に**遅延**が発生する
 - **国道47号は重要な運搬ルート**であり、発電所構内にあるチップ用タンクは約3日分のため、**通行止めは事業へ影響**する

3. 道路交通・地域の状況と課題(観光)

- ◆ 最上・庄内地域への観光客数は近年減少傾向で、特に最上地域の低迷状況が続いている。
- ◆ 県を代表する観光地「最上川舟下り(戸沢村)」への観光客数も減少傾向。
- ◆ 最上・庄内両地域の交流促進に向けた相互連携を進める中で、国道47号の速達性と定時性向上に期待が寄せられている。

【図1】国道47号沿線地域の観光入込客数



出典)山形県観光者数調査

【図3】最上・庄内地域が連携したスタンプラリーの実施状況

おもてなし山形県観光計画 (H27.3~H32.3)

- 広域観光協議会の相互連携による、新たな魅力の創出に向けた地域づくりの取組みを支援

最上・庄内観光スポットスタンプラリー

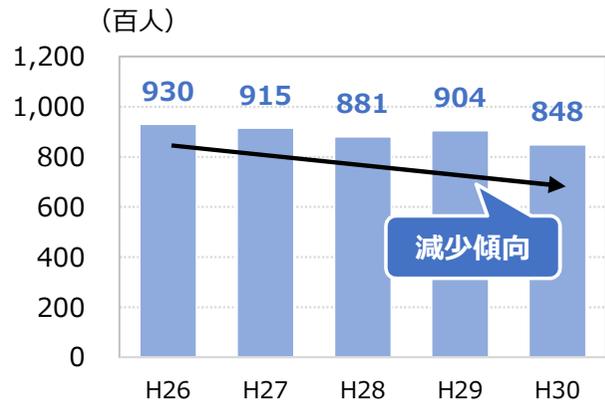
- 両地域の交流促進・滞在時間の増加を目的とし、H28から4年連続で実施中

<スタンプラリー応募総数(通)>

| 年 | 応募総数 |
|-----|------|
| H28 | 590 |
| H29 | 433 |
| H30 | 307 |

出典)庄内観光コンベンション協会提供資料

【図2】最上川舟下りへの観光入込客数

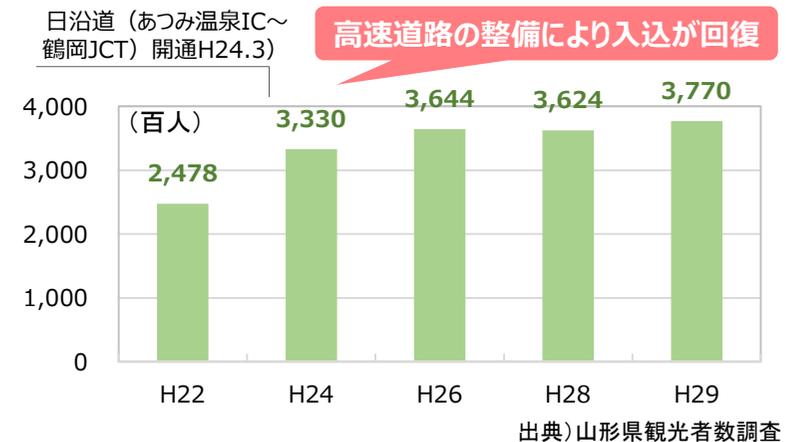


出典)最上峡芭蕉ライン観光株式会社提供資料

《観光関係者の声》
 H30.9、H27.12ヒアリング調査結果より

- 庄内地域と最上地域は隣接した地域ではあるものの、相互交流が少なかった。
- 最上・庄内両地域を早く移動ができるようになることや、移動時間を読めるようになるよう道路整備が進められることを期待している。

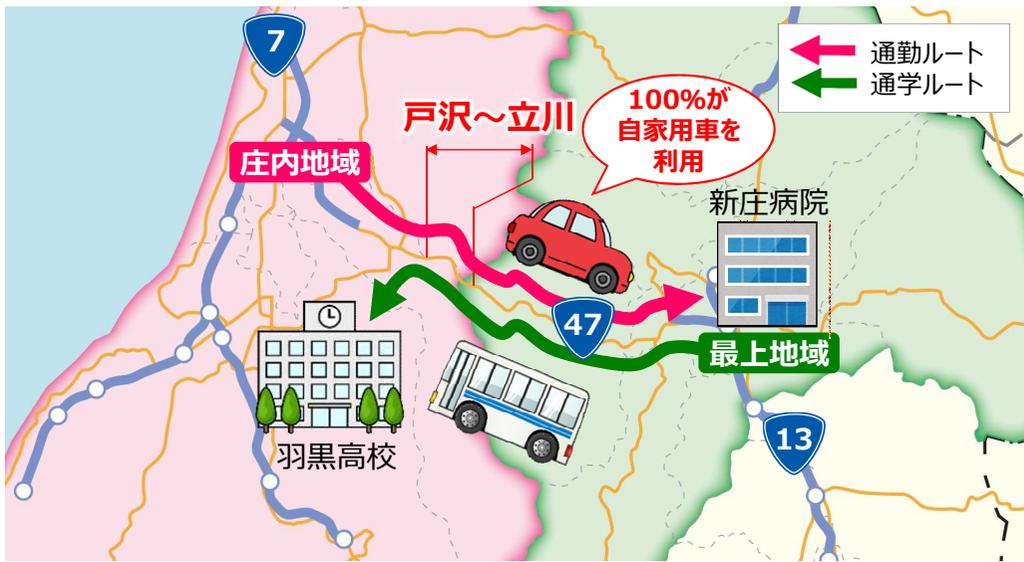
【図4】道路整備により観光客が増加した事例(山形県あつみ温泉)



3. 道路交通・地域の状況と課題(生活)

- ◆ 国道47号は、庄内地域～最上地域の通勤・通学に利用されている。
- ◆ 冬期の路面凍結や地吹雪等の影響による速度低下・通勤時間増加のリスクや通行止め時の影響が大きく、生活移動に対する不安の解消が課題。

【図1】庄内地域～最上地域間の通勤・通学者数及び事例



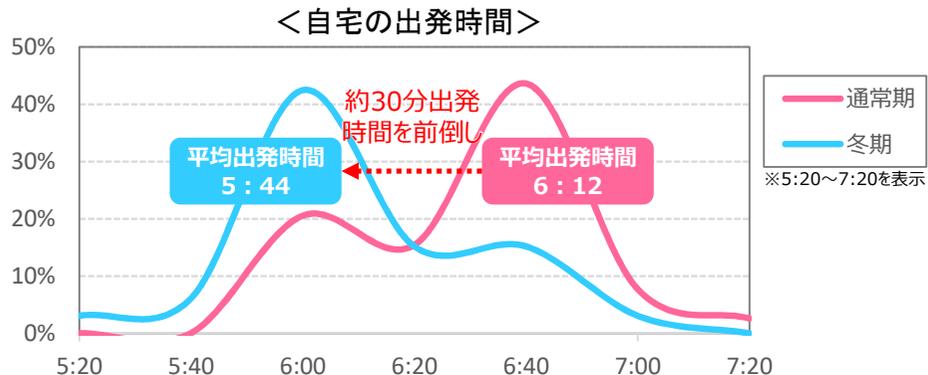
《道路利用者の声》 H31通勤利用者(庄内地域→新庄病院)へのアンケート調査結果より

- ・ 今でも早く家を出ているが、雪が降るともっと早く出ないといけなくなるのが**苦痛**。
- ・ 戸沢、立川、余目は**地吹雪で前方が見えず、道路も見えなくなり**、対向車とぶつかりそうになったことがある。ノロノロ運転で**通勤時間がかかりすぎる**。

《学校関係者の声》 H30羽黒高等学校及び卒業生ヒアリング調査より

- ・ **冬期は路面凍結等**が危険で、スクールバスは**20～30分早く**に学校を出発しています。
- ・ **冬期はスクールバスが遅れ、授業に間に合わないことが毎週**ありました。

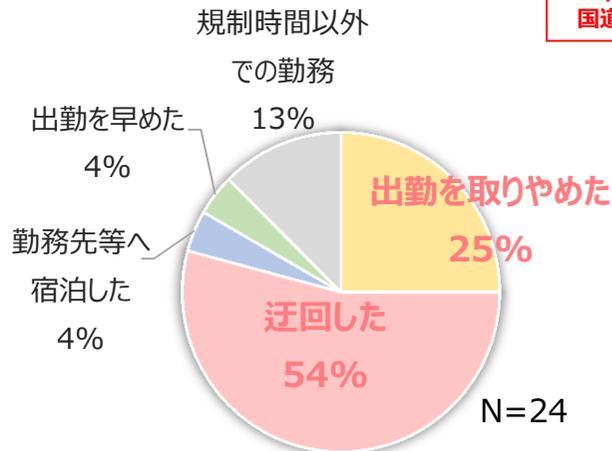
【図2】庄内地域から新庄病院への通勤状況



出典) H31通勤利用者(庄内地域→新庄病院)へのアンケート調査結果より(通常期:N=40、冬期:N=33)

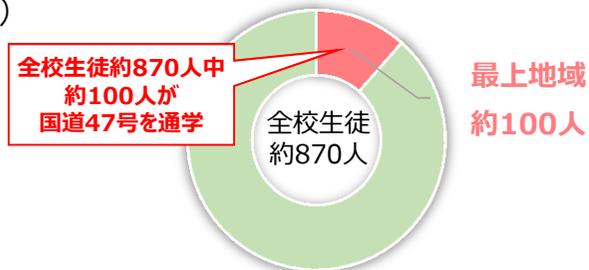
【図3】国道47号全面通行止め時の行動 (庄内地域から新庄病院への通勤者)

※平成30年8月の大雨による通行止め時の影響



出典) H31通勤利用者(庄内地域→新庄病院)へのアンケート調査結果より

【図4】私立羽黒高校の方面別生徒数



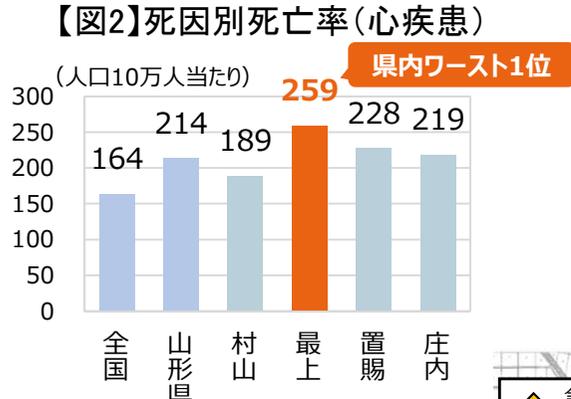
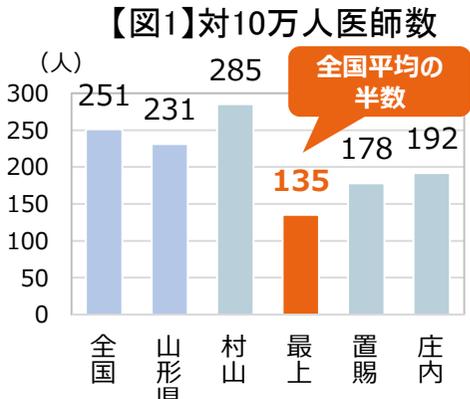
出典) 平成29年度私立羽黒高等学校学校要覧

【写真1】スクールバスの走行状況



3. 道路交通・地域の状況と課題(医療)

- ◆ 最上地域は人口当たりの医師数が県内で最も少なく、三次救急医療機関の空白地域。
- ◆ 最上地域は特に心疾患系の医師が少ないため、心疾患等の患者は庄内地域(日本海総合病院)、村山地域へ転院搬送。
- ◆ 当該区間は庄内地域への唯一のアクセス道路であるが、患者の安静搬送や冬期の走行性に課題。



《救急隊員の声》 H28ヒアリング調査結果より

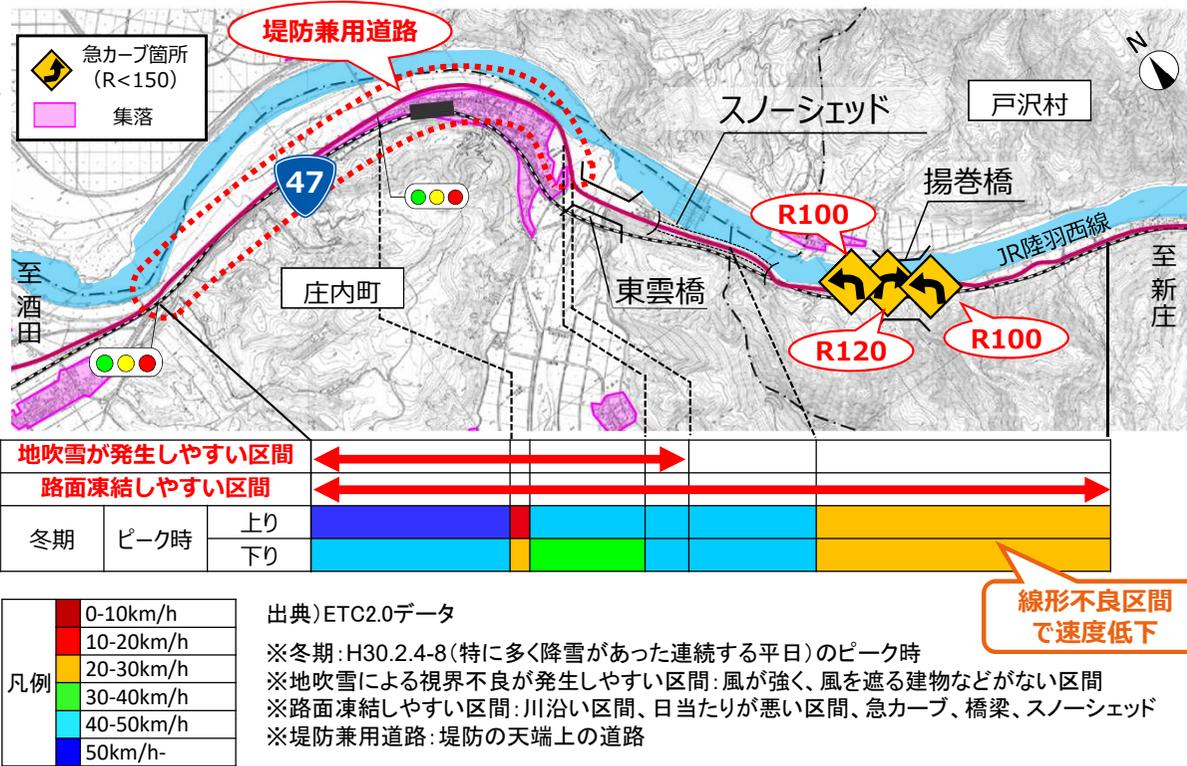
- 急ハンドル、急ブレーキによる**患者の容体悪化を防ぐため、スピードを抑えて搬送**している
- 冬期は特に**吹雪や路面凍結**に気を付けている
- 道路が整備されれば、スムーズな搬送が可能になり、山形市方面や酒田市方面の医療機関など、**搬送先の選択肢も増える**のではないかと

出典)人口:平成27年国勢調査、医療施設の従事者:平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査より算出
 出典)データでみた山形県の健康福祉のすがた ※H29年間(保健所別はH28年間)

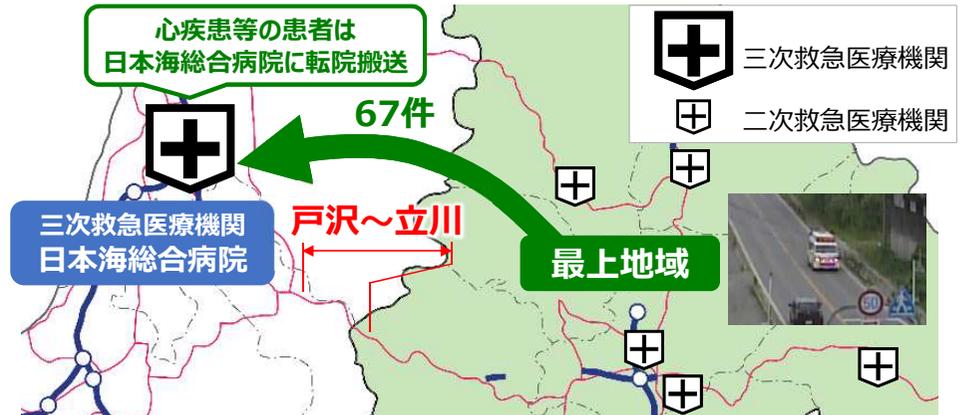
第7次山形県保健医療計画(第3部 地域編(最上二次保険医療圏))

- 心臓外科分野において二次保健医療圏で対応困難な場合の救急搬送体制の充実を推進します。
- 県は、県立新庄病院の改築整備に合わせた、急性心筋梗塞に係る医療機能の充実を図るとともに、搬送事例の検証を通じ、引き続き県立中央病院、山形大学附属病院及び**日本海総合病院との広域連携による適切な救急搬送体制の確保**を進めます。

【図4】戸沢～立川の速度低下状況



【図3】最上地域から日本海総合病院への転院搬送状況(H26~H30)



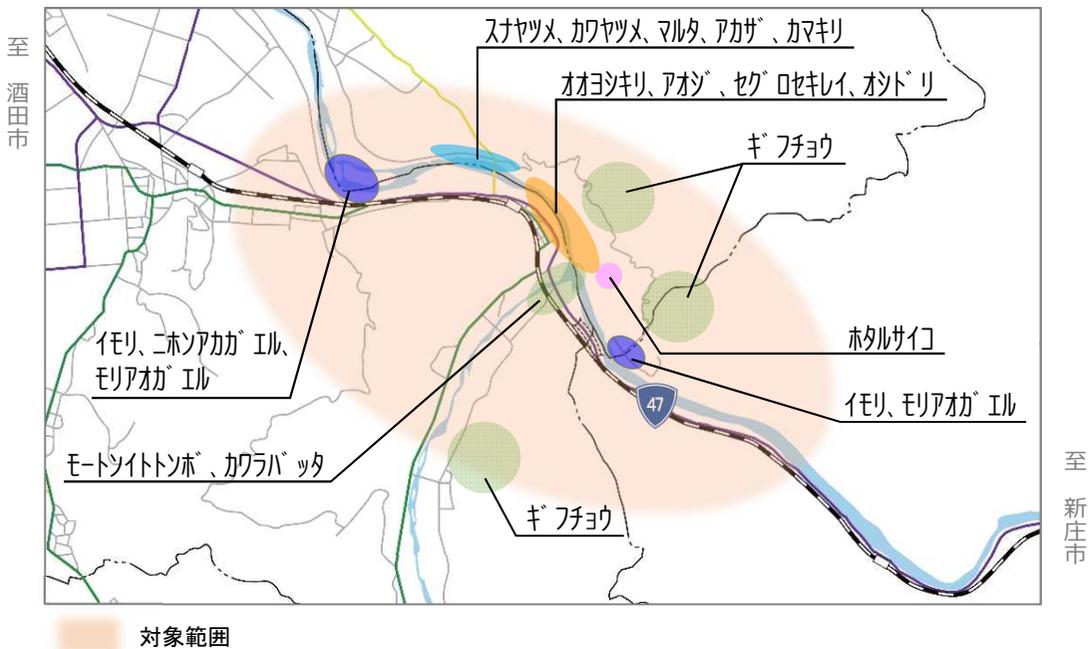
出典)最上広域市町村圏事務組合消防本部提供データより
 ※H26~H30の5年間での合計件数

線形不良区間で速度低下

4. 地域に配慮すべき事項(自然環境)

◆ 既存文献から重要な動植物が分布しているため、影響をできる限り軽減する必要がある。

【図1】対象範囲



植物

■過去の文献で確認されている希少種

- ホタルサイコ(山形県:絶滅危惧Ⅱ類)
- ヒメジャガ(環境省:準絶滅危惧、山形県:準絶滅危惧)
- クマガイソウ(環境省:絶滅危惧Ⅱ類、山形県:絶滅危惧ⅠA類)
- コシノカンアオイ(環境省:準絶滅危惧、山形県:準絶滅危惧)
- ハイハマボス(環境省:準絶滅危惧、絶滅危惧Ⅱ類、山形県:準絶滅危惧種)
- カワラニガナ(環境省:準絶滅危惧種、絶滅危惧Ⅱ類、山形県:準絶滅危惧種)

出典) 環境省:「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年6月)
 環境省:「レッドリスト2019」(環境省, 平成31年1月)
 山形県:「山形県第2次レッドリスト(植物編)について(2013年度改訂版)」(山形県, 平成26年3月)」

動物

■過去の文献で確認されている希少種

- ・哺乳類
 - カモシカ(特別天然記念物)
- ・鳥類
 - オシドリ(環境省:情報不足、山形県:準絶滅危惧)
 - セグロセキレイ(山形県:準絶滅危惧)
 - オオヨシキリ(山形県:準絶滅危惧)
 - アオジ(山形県:準絶滅危惧)
- ・両生類
 - イモリ(環境省:準絶滅危惧)
 - ニホンアカガエル(山形県:絶滅危惧ⅠB類)
 - モリアオガエル(山形県:準絶滅危惧)
- ・魚類
 - カワヤツメ(環境省:絶滅危惧Ⅱ類)
 - スナヤツメ(環境省:絶滅危惧Ⅱ類)
 - マルタ(環境省:絶滅のおそれのある地域個体群)
 - アカザ(環境省:絶滅危惧Ⅱ類、山形県:絶滅危惧ⅠB類)
 - カマキリ(アユカケ)(環境省:絶滅危惧Ⅱ類、山形県:絶滅危惧ⅠB類)
 - ウケクチウグイ(環境省:絶滅危惧ⅠB類、山形県:絶滅危惧Ⅱ類)
- ・昆虫類
 - ギフチョウ(環境省:絶滅危惧Ⅱ類)
 - モートントンボ(環境省:準絶滅危惧)
 - カワラバタ(山形県:絶滅危惧Ⅱ類)
 - エゾエンマコウロギ(環境省:準絶滅危惧、山形県:準絶滅危惧)

出典) 環境省:「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年6月)
 環境省:「レッドリスト2019」(環境省, 平成31年1月)
 山形県:「レッドデータブックやまがた2019 山形県の絶滅のおそれのある野生動物改訂版」(山形県, 平成31年4月)

| | 課 題 | 原 因 |
|---------------|--|--|
| 交通 環境 | <p>○走行安全性が低下</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭幅員、急カーブが連続しており、交差点は少ないが、区間全体に急ブレーキが発生。 ・地吹雪や路面凍結、堆雪により、走行環境が悪化。 ・冬期に通常期の約4倍の死傷事故が発生しており、正面衝突やすれ違い時などの死傷事故が多発。 | <p>○狭幅員、急カーブが連続</p> <p>○冬期の劣悪な道路交通環境</p> |
| 物流 ・ 産業 | <p>○不安定な物流ネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通行止め時は広域迂回(所要時間約2倍)が発生し、原材料の輸送や商品の製造、供給へ影響。 ・急ブレーキ等による走行時の振動により原材料や商品の輸送に影響。 | <p>○通行止め時の迂回が広域となる</p> <p>○狭幅員、急カーブが連続</p> |
| 観光 | <p>○周遊観光の連絡性が不十分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最上・庄内地域への観光客数は近年減少傾向。 ・最上・庄内両地域の相互交流も少ない。 | <p>○地域間の速達性と定時性が低い</p> |
| 医療 | <p>○患者の安静な搬送に支障</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転院搬送時の患者への負担軽減に課題。 ・冬期走行性の確保に課題。 | <p>○狭幅員、急カーブが連続</p> <p>○冬期の劣悪な道路交通環境</p> |

政策目標
(素案)



安全かつ
快適な移動の
実現



物流の安定的輸送
の確保



観光振興の支援



安定した
搬送ルート
の確保

6. 地域の将来像との整合

| 第3次山形県総合発展計画 内容（抜粋） | |
|---------------------------------|--|
| 国内外との交流を拡大する 広域交通ネットワークの整備促進 | ◆格子状骨格道路ネットワークの形成 ・ 高速道路、地域高規格道路等の整備促進 【安全かつ快適な移動の実現】 【安定した搬送ルートの確保】 |
| 本県産業の海外展開力の強化 | ◆酒田港の活用推進 ・ 新たなリサイクル関連貨物の取扱いの創出と取扱い企業の誘致推進によるリサイクル物流拠点としての機能向上 【物流の安定的輸送の確保】 |
| インバウンド推進による 交流人口の拡大 | ◆隣県等との連携推進 ・ 仙台空港を活用した広域周遊ルート等の形成や観光資源の一体的な情報発信の強化 【観光振興の支援】 |
| 安心して健康で長生きできる 社会の実現 | ◆救急医療体制の強化 ・ 救急搬送、受入体制の強化等、脳卒中や心疾患などの急性期医療が必要な疾患に対する提供体制の充実 【安定した搬送ルートの確保】 |

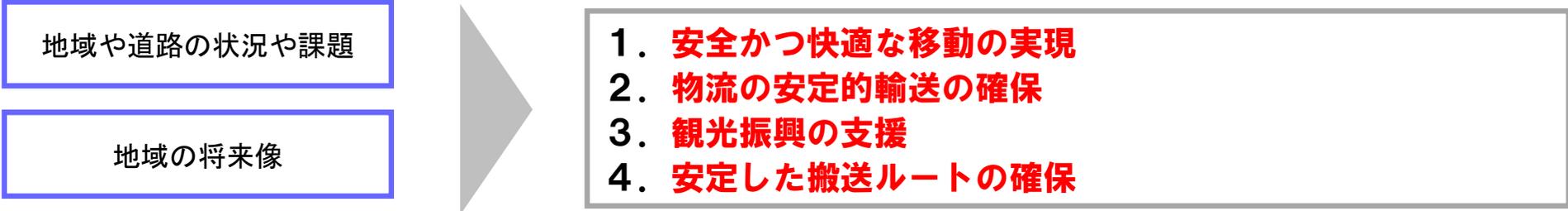
| 第2次庄内町総合計画 内容（抜粋） | |
|-------------------|--|
| 観光 | ◆広域観光体制の充実 ・ 周辺自治体や関係機関・団体と連携し、広域観光ルートづくりや広域的なPR活動の推進、交通網の整備促進など滞在・交流を促す基盤整備の促進等に努めます。 【観光振興の支援】 |
| 道路・公共交通 | ◆高速道路網の整備促進 ・ 地域高規格道路新庄酒田道路の早期建設に向け、余目酒田道路の早期完成供用と未事業化区間の早期事業化について、沿線自治体などと連携し、関係機関に積極的に要請します。 【安全かつ快適な移動の実現】 【安定した搬送ルートの確保】 |

| 第4次戸沢村総合計画 内容（抜粋） | |
|-------------------|--|
| 交通体系・通信基盤の整備 | ◆高速道路の整備促進 ◆国道47号の改良整備 【安全かつ快適な移動の実現】 【安定した搬送ルートの確保】 |
| 広域行政・広域連携の推進 | ◆他の市町村との広域的な連携 ◆広域交流の拡大と相互連携の推進 ◆広域観光・交流事業の連携 【安全かつ快適な移動の実現】 【安定した搬送ルートの確保】 【観光振興の支援】 |

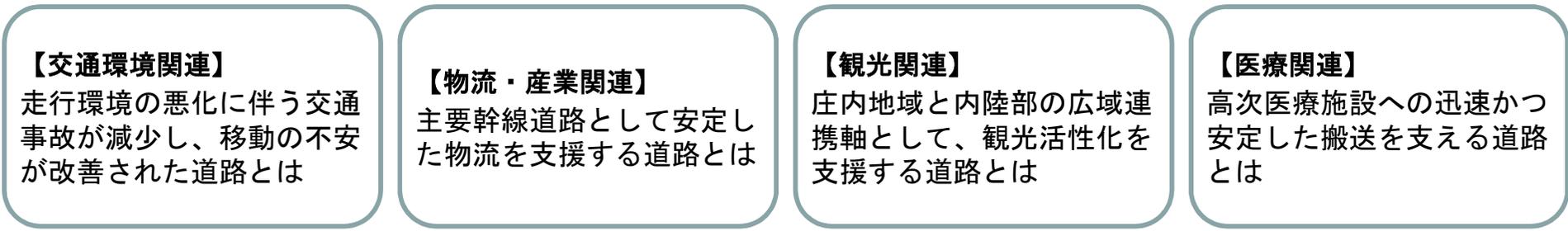
7. 政策目標の設定(整備方針の検討)

◆ 現道の課題を解消するための整備方針を検討

◇ 現道の課題を早期に解消する政策目標を設定



◇ 対策案の検討方法



対象地域の課題を解決し、地域の将来像を実現する案を設定

8. 地域からの意見聴取方法

◆ 以下の通り、地域から意見聴取を実施

1. 意見聴取の内容

| 調査項目 | 把握する内容 | 回答方法 |
|-------------------|--|-----------------------|
| 1. 国道47号の利用状況について | 主な利用目的 | 選択式（単一回答） |
| | 主な移動手段 | 選択式（単一回答） |
| | 利用頻度 | 選択式（単一回答） |
| 2. 地域の課題について | 提示した複数の課題について、それぞれどの程度重要と思うか | 選択式（単一回答） |
| | 提示した課題の他に、困っていることや問題はないか | 自由回答 |
| 3. 道路整備の必要性について | 提示した道路課題について、道路整備によって優先して解決していくべき課題は何か | 選択式（複数回答） ※自由回答欄あり |
| 4. その他の意見 | その他、国道47号（新庄～酒田）への意見・要望 | 自由回答 |

8. 地域からの意見聴取方法

2. 意見聴取の対象（案）

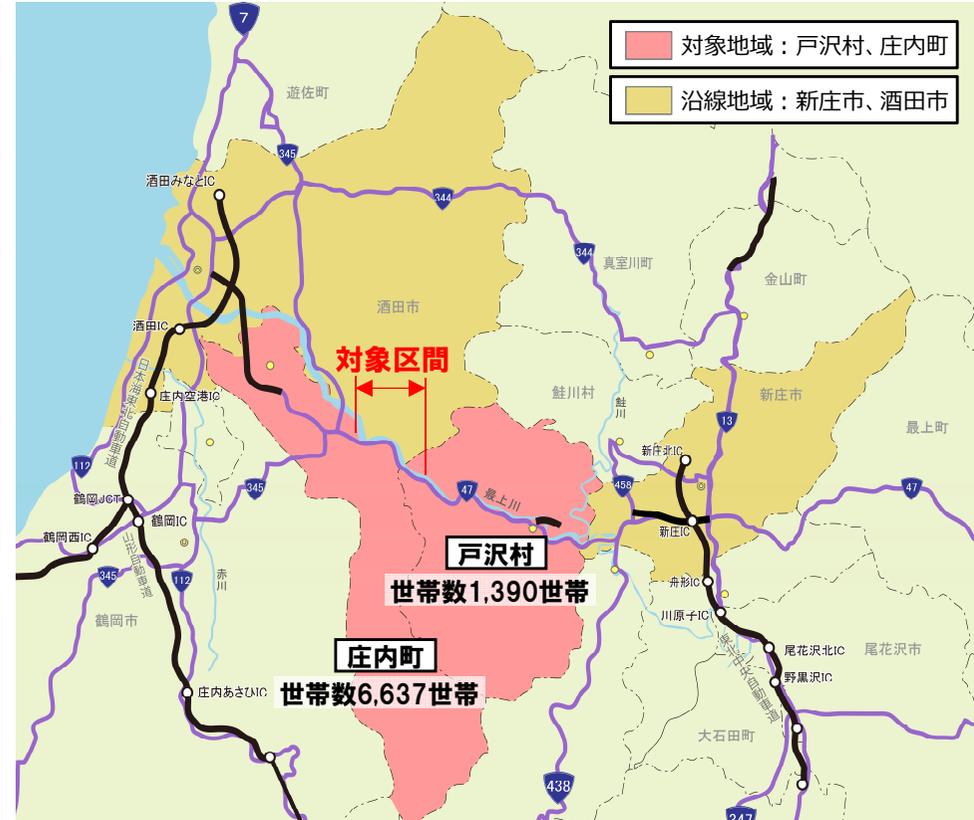
■アンケートによる意見聴取の対象（案）

| 調査対象者 | | 調査手法・規模 |
|-------|------------------------------|---|
| 地域住民 | ・戸沢村、庄内町 | ・全戸を対象とした郵送配布 (約8,000世帯) |
| 沿線住民 | ・新庄市、酒田市 | ・抽出による郵送配布 (約8,000世帯) |
| 事業所等 | ・当該区間を利用する物流業者 ・沿線の製造業事業所 | ・国道47号利用企業への郵送配布 (約140事業所) ・戸沢村、庄内町の製造業者への 郵送配布 (約20事業所) |
| 道路利用者 | ・広域の道路利用者 | ・WEB ・留置き (市町村役場・文化施設・ 道の駅等) |

■ヒアリング調査による意見聴取の対象（案）

| 関連団体ヒアリング調査：30社・団体（訪問調査） | | |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・自治体（2市1町1村） ・県（1県） ・消防機関（2団体） ・医療機関（2団体） | <ul style="list-style-type: none"> ・警察機関（2団体） ・トラック協会(1団体) ・製造業者（6社） ・物流業者（4社） | <ul style="list-style-type: none"> ・観光協会（2団体） ・バス協会（1団体） ・バス事業者（2社） ・学校（3団体） |

<アンケート配布範囲>



3. 地域への意向調査の周知方法

| 情報提供の項目 |
|---|
| 戸沢村、庄内町、酒田河川国道事務所、山形河川国道事務所のホームページに意向調査（WEB）のバナーを設置 |
| 自治体の広報紙への掲載や酒田河川国道事務所HP等で幅広く広報を実施 |

4. 意見聴取期間

◇1ヶ月程度

5. 実施主体

◇国土交通省 東北地方整備局 酒田河川国道事務所

8. 地域からの意見聴取方法

●調査の設問案

意見聴取方法及び質問内容

- 1) 調査概要
計画の概要、計画の対象を提示
- 2) 地域の現状
計画の課題を提示

新庄酒田道路（戸沢～立川）の計画検討に関する第1回アンケート調査

新庄酒田道路の計画に向けて、みなさまのご意見をお聞かせください

新庄酒田道路は、新庄市から酒田市に至る延長約50キロメートルの地域高規格道路です。今回のアンケートは、戸沢村～庄内町間の道路整備の計画検討にあたり、皆様のご意見を伺うものです。アンケートの結果は、今後の新庄酒田道路の計画の推進に役立ててまいります。また、結果につきましては、集計してホームページ等で公表させていただきます。なおご意見は統計的に処理し、住所・氏名や個人の意見等が特定されることはありません。



国道47号の戸沢～立川間における課題を以下のとおり考えました。



1. 走行の安全性と快適性が低下

- 対象区間は、国道47号のなかでも死傷事故の発生割合が高く、幅員が狭いため、「正面衝突」や「すれ違い時」など対向車との事故が多くなっています。
- 冬期は地吹雪や路面凍結、堆雪により、更に走行環境が悪化しています。
- 庄内地域～最上地域間の通勤通学では、冬期は速度低下により時間が読まず、不安な状況です。

| 区間 | 正面衝突 | すれ違い時 | 追突 | 対向車 |
|-----------|------|-------|-----|-----|
| 戸沢～立川 | 28% | 11% | 44% | 17% |
| 冬期 | 50% | 33% | 17% | |
| 山形県 西新国道路 | 68% | | 12% | |
| 冬期 | 65% | | 11% | |

| 区間 | 凍結発生回数 |
|-----------------|--------|
| 庄内地域から新庄市への通勤時間 | 72 |
| 冬期 | 98 |

2. 通行止め時の影響が大きく物流に不安

- 国道47号では、大雨や大雪、交通事故などによる全面通行止めが多発しています。
- 対象区間は迂回路がないため、通行止め時には時間にして約2倍もの迂回が必要で、
- 通行止め時には、原材料の確保ができなくなる、日持ちしない製品の鮮度が保てず廃棄処分となるなど、事業活動への影響が発生しています。

| ルート | 距離 | 所要時間 |
|--------------|------|-------|
| 通常ルート | 55km | 76分 |
| 迂回ルート (R112) | 1.6倍 | 1.64倍 |

3. 移動時間が長く周遊観光に不便

- 最上地域・庄内地域への観光客数は、近年減少傾向であり、周遊観光の促進のため、両地域をめぐるスタンプラリーなどが実施されています。
- 広域的な周遊観光に対応するため、迅速性と定時性が求められています。

| 区間 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 最上地域 | 129 | 144 | 147 | 142 | 133 |
| 庄内地域 | 26 | 28 | 27 | 28 | 26 |

4. 患者の安楽搬送に支障

- 最上地域は人口当たりの医師数が県内で最も少なく、地域内で対応困難な場合（心疾患等）は、庄内地域の日本海総合病院や村山地域の病院へ転院搬送されています。
- 対象区間はカーブが多く、患者の容態悪化を防ぐため、スピードを出すことができません。

| 地域 | 医師数 |
|------|-----|
| 全国 | 251 |
| 山形県 | 231 |
| 村山 | 285 |
| 最上 | 135 |
| 庄内 | 178 |
| 全国平均 | 192 |

8. 地域からの意見聴取方法

●調査の設問案

3) 質問事項 (住民用)

- ①道路利用状況について ②課題について ③道路整備の必要性について

(案)

問1 国道47号の戸沢～立川間 (対象区間) の道路利用について、お伺いします。
(それぞれ当てはまるものひとつに○を付けてください)

| | |
|-----------------------|--|
| A 利用目的 (主なものひとつに○) | 1. 通勤・通学 2. 通院 3. 家事・買物 4. 仕事(営業・運送等) 5. ドライブ・レジャー 6. 利用しない (※問2へ) 7. その他 (カッコ内にご記入ください) |
| B 利用頻度 (ひとつに○) | 1. 週に5回以上 2. 週に3～4回 3. 週に1～2回 4. 月に1～2回 5. 年に数回 |
| C 移動手段 (主なものひとつに○) | 1. 自動車 2. 公共交通(バス・タクシー) 3. バイク 4. 自転車 5. 徒歩 |

問2 国道47号の戸沢～立川間 (対象区間) の課題について、「そう思う」～「全く思わない」の**5段階**で評価してください。○を付けた主な理由や、地域で困っていること、改善してほしいことなどがあれば、ご自由にお書きください。

| |
|------------------------|
| ・ 走行の安全性や快適性が低い |
| ・ 通行止め時の影響が大きく物流に不安がある |
| ・ 移動時間が長く観光周遊に不便である |
| ・ 患者の安静搬送に支障がある |

問3 地域の課題を解決するために、新たな道路整備が必要だと思いますか? 「そう思う」～「全く思わない」の**5段階**で評価してください。

問4 その他、国道47号の戸沢～立川間 (対象区間) について、ご意見ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

(はがき/表面)

郵便はがき

料金受取人払郵便

998-0011

山形県酒田市上安町1-2-1
国土交通省 東北地方整備局
酒田河川国道事務所 調査第二課 行

差出有効期間
令和元年〇月〇日まで
(切手不要)

〇〇郵便局
承認
〇〇

バーコード

※本アンケートでお答えいただいた意見及び個人情報、他の目的で利用したり、第三者に利用させたりすることは一切いたしません。

あなたについてお聞かせください ([] 内に記入または該当する番号に○)

| |
|---|
| 郵便番号 [] |
| 住所 [] 都・道・府・県 |
| [] 市・町・村 |
| 地区名 [] |
| 性別 1. 男性 2. 女性 |
| 年齢 1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代以上 |
| 職業 1. 会社員 2. 公務員 3. 自営業 4. 学生 5. 主婦・主夫 6. 無職 7. その他() |

(はがき/裏面)

新庄酒田道路(戸沢～立川) アンケート調査 回答欄

問1. それぞれ該当するもの1つに○を付けてください。

| | | | | | | | |
|--------|---|---|---|---|---|---|---------|
| A 利用頻度 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7() |
| B 移動手段 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| C 利用頻度 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |

問2. 5段階評価で評価し、○を付けてください。

| 項目 | そう思う | やや思う | どちらとも言えない | あまり思わない | 全く思わない |
|----------------------|------|------|-----------|---------|--------|
| 走行の安全性や快適性が低い | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 通行止め時の影響が大きく物流に不安がある | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 移動時間が長く観光周遊に不便である | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 患者の安静搬送に支障がある | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

○を付けた主な理由や、地域で困っていること、改善してほしいことなどがあれば、ご自由にお書きください。

問3. ①～④を選んで○ (いくつでも可) を付けてください。「その他」に○を付けた方は、内容をお書きください。

| 項目 | そう思う | やや思う | どちらとも言えない | あまり思わない | 全く思わない |
|------------|------|------|-----------|---------|--------|
| 新たな道路整備が必要 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問4. その他
その他のご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

9. 計画段階評価検討の流れ

◆ 地域住民や道路利用者の意見を聞きながら、道路計画〔概略ルート、構造等〕について検討を行う。

